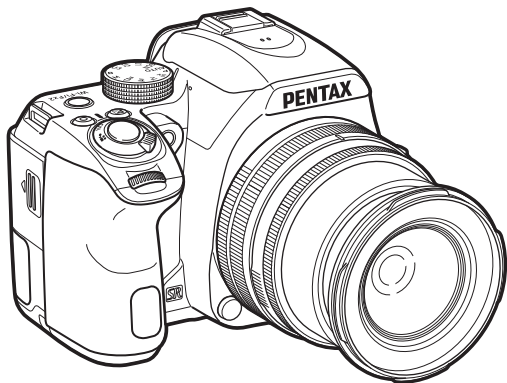


RICOH

デジタル一眼レフカメラ

PENTAX K-70

スタートガイド



このたびは、PENTAX K-70をお買い上げいただきまことにありがとうございます。

この「スタートガイド」では、本機をお使いになるまでの準備と基本的な使い方を説明しています。正しい操作のために、ご使用前に本書をよくお読みください。

さまざまな撮影方法や設定など詳しい使い方については、当社ホームページで公開している「使用説明書」(PDF)をご覧ください。

「使用説明書」の詳細は、p.64を参照してください。

ご注意ください

この製品の安全性については十分注意を払っておりますが、下記マークの内容については特に注意をしてお使いください。



警告

このマークの内容を守らなかった場合、人が重大な傷害を受ける可能性があることを示すマークです。



注意

このマークの内容を守らなかった場合、人が軽傷または中程度の傷害を受けたり、物的損害の可能性のあることを示すマークです。

本体について



警告

- カメラの分解・改造などをしないでください。カメラ内部に高電圧部があり、感電の危険があります。
- 落下などにより、カメラ内部が露出したときは、絶対に露出部分に手を触れないでください。感電の危険があります。
- 太陽などの強い光に向けての撮影や、レンズキャップを外した状態で直射日光のあたる場所に放置しないでください。カメラの故障や火災の原因になる場合があります。
- レンズを太陽に向けてのぞかないでください。失明や視力障害の原因になります。
- 使用中に煙が出ている・変なにおいがするなどの異常が発生した場合、すぐに使用を中止し、バッテリーまたはACアダプターを取り外した上、弊社修理センター、またはお客様窓口にご相談ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



注意

- フラッシュの発光部に手を密着させたまま発光させないでください。やけどのおそれがあります。
- フラッシュの発光部を衣服などに密着させたまま発光させないでください。変色などのおそれがあります。
- 本機には、使用していると熱を持つ部分があります。その部分を長時間続けると、低温やけどを起こすおそれがありますのでご注意ください。

- 万一液晶が破損した場合、ガラスの破片には十分ご注意ください。中の液晶が皮膚や目に付いたり、口に入らないよう十分にご注意ください。
- お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異常が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診察を受けてください。

バッテリー充電器とACアダプターについて



警告

- バッテリー充電器とACアダプターは、必ず専用品を指定の電源・電圧でご使用ください。専用品以外をご使用になったり、指定以外の電源・電圧でご使用になると、火災・感電・故障の原因となります。AC指定電圧は、100-240Vです。
- 分解したり、改造したりしないでください。火災・感電の原因となります。
- 使用中に煙が出ている・変なにおいがするなどの異常が発生した場合、すぐに使用を中止し、弊社修理センター、またはお客様窓口にご相談ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 万一、内部に水などが入った場合は、弊社修理センター、またはお客様窓口にご相談ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 使用中に雷が鳴り出したら、電源プラグを外し、使用を中止してください。機器の破損、火災・感電の原因となります。
- 電源プラグにほこりが付着している場合は、よく拭いてください。火災の原因となります。



注意

- ACコードの上に重いものを載せたり、落としたり、無理に曲げたりしてコードを傷めないでください。もしACコードが傷んだら、弊社修理センター、またはお客様窓口にご相談ください。
- コンセントに差し込んだまま、ACコードの接続部をショートさせたり、触ったりしないでください。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。故障の原因となります。
- バッテリー充電器D-BC109で充電式リチウムイオンバッテリーD-L109以外のバッテリーは充電しないでください。他のバッテリーを充電しようとする、発熱や爆発、充電器の故障の原因となります。

バッテリーについて

警告

- バッテリーの液が目に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

注意

- 本機では、決められたバッテリー以外は使用しないでください。バッテリーの爆発、発火の原因となることがあります。
- バッテリーは分解しないでください。無理に分解をすると、爆発や液漏れの原因となります。
- 万一、カメラ内のバッテリーが発熱・発煙を起こしたときは、速やかにバッテリーを取り出してください。その際は、やけどに十分注意してください。
- バッテリーの「+」と「-」の接点に、針金やヘアピンなどの金属類が触れないようにご注意ください。
- バッテリーをショートさせたり、火の中へ入れないでください。爆発や発火の原因となります。
- バッテリーの液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。
- 発熱・発火・破裂のおそれがありますので、バッテリー使用の際は、下記注意事項を必ずお守りください。
 1. 専用充電器以外では絶対に充電しないこと。
 2. 火中投入、加熱、高温での充電・使用・放置をしないこと。
 3. 変形や、ショートさせたり分解・改造をしないこと。

カメラや付属品は乳幼児の手の届かない場所に

警告

- カメラや付属品を、乳幼児の手の届く場所には置かないでください。
 1. 製品の落下や不意の動作により、傷害を受けるおそれがあります。
 2. ストラップを首に巻き付け、窒息するおそれがあります。
 3. バッテリーやSDメモリーカードなどの小さな付属品を飲み込むおそれがあります。万一、飲み込んだと思われる場合は、直ちに医師にご相談ください。

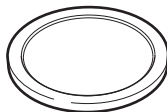
同梱品を確認しましょう



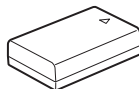
ホットシューカバー Fk
(カメラ装着)



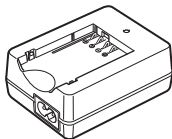
アイカップ Fr
(カメラ装着)



ボディマウントカバー
(カメラ装着)



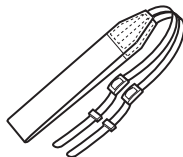
充電式リチウムイオン
バッテリー D-LI109



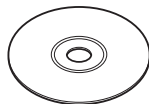
バッテリー充電器
D-BC109



ACコード
D-CO2J



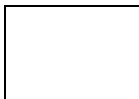
ストラップ
O-ST132



ソフトウェア (CD-ROM)
S-SW168



スタートガイド (本書)



保証書

使用できるレンズ

本機で使用できるレンズは、DA／DAL／DFA／FAJ／FAまたは絞り **A**（オート）位置のあるレンズです。それ以外のレンズやアクセサリーを使用するときは、本書のp.48を参照してください。

目次

同梱品を確認しましょう	2
各部の名称と機能	5
ボタン・ダイヤル・レバー	6
画像モニター	8
ファインダー	11
電子水準器	11
機能の設定方法	12
ダイレクトキーで設定する	12
コントロールパネルで設定する	12
メニューで設定する	14
メニュー一覧	15
撮影メニュー	15
動画メニュー	20
再生メニュー	21
詳細設定メニュー	22
カスタムメニュー	25
撮影前の準備	27
ストラップを取り付ける	27
レンズを取り付ける	27
バッテリーを充電する	28
バッテリーを入れる	28
メモリーカードをセットする	29
画像モニターを開く	29
言語と日時を設定する	30
メモリーカードをフォーマットする	31
撮影のキホン	32
ファインダーを使って撮影する	32
ライブビュー画像を見ながら撮影する	33
静止画の撮影モードの種類	34

ISO感度を設定する	37
露出を補正する	37
動画を撮影する	38
フラッシュを使用する	39
ドライブモードを設定する	40
ホワイトバランスを設定する	41
画像の確認	41
動画の再生	42
再生モードパレット	43
画像の共有	44
Wi-Fiを有効にする	44
通信端末で操作する	44
撮影モードの機能制限	45
特殊機能の組み合わせ制限	47
各種レンズ使用時の機能	48
主な仕様	49
USB接続と付属ソフトウェアの動作環境	54
索引	56
取り扱い上の注意	59
アフターサービスについて	63
「使用説明書」のご案内	64

本文中のイラストおよび画像モニターの表示画面は、実際の製品と異なる場合があります。

著作権について

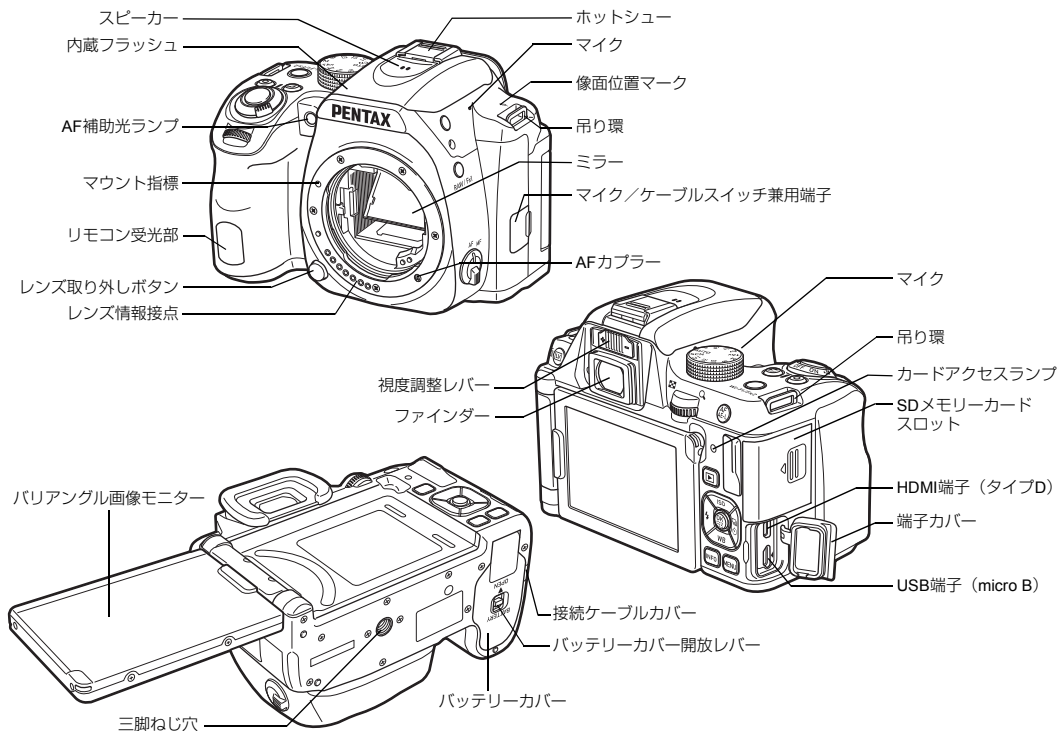
本製品を使用して撮影した画像は、個人で楽しむなどのほかは、著作権法により、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物の中には、個人として楽しむ目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また著作権の目的となっている画像は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

本機を使用するにあたって

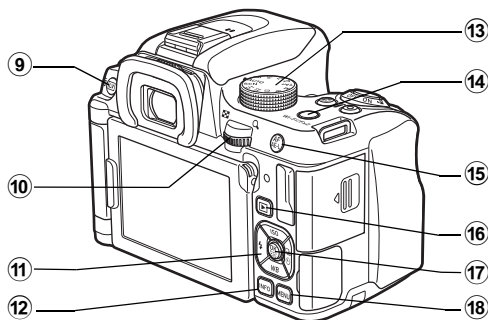
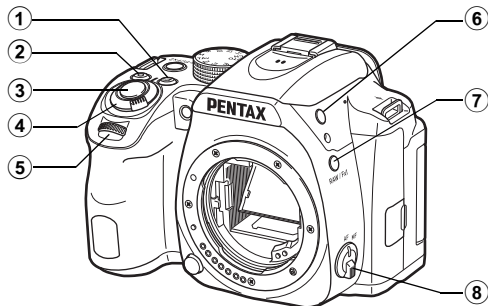
- テレビ塔など強い電波や磁気を発生する施設の周囲や、強い静電気が発生する場所では、記録データが消滅したり、撮影画像へのノイズ混入等、カメラが誤作動を起こす場合があります。
- 画像モニターに使用されている液晶パネルは、非常に高度な精密技術で作られています。99.99%以上の有効画素数がありますが、0.01%以下の画素で点灯しないものや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。なお、記録される画像には影響ありません。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用されることを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

各部の名称と機能



ボタン・ダイヤル・レバー



- ① **露出補正ボタン (E)**
露出補正值を変更するときに押します。(p.37)
再生モード時は、直前に撮影したJPEG画像のRAWファイルを追加保存します。
- ② **グリーンボタン (O)**
設定中の値をリセットします。
- ③ **シャッターボタン (SHUTTER)**
画像を撮影します。(p.33)
再生モード時は、半押しで撮影モードに切り替わります。
- ④ **電源レバー**
電源のON / OFFと (動画) モードを切り替えます。(p.38)
ONにすると (静止画) モードになり、ランプが緑で点灯します。 (動画) に合わせると (動画) モードになり、赤で点灯します。
- ⑤ **前電子ダイヤル (M/)**
露出などの設定値を変更します。(p.36)
メニューが表示されているときは、メニューのカテゴリを切り替えます。(p.14)
再生モード時は、画像を切り替えます。
- ⑥ **フラッシュポップアップボタン (F)**
内蔵フラッシュをポップアップさせます。(p.39)
- ⑦ **RAW/Fx1ボタン (Fxi)**
機能を割り当てて使用します。
初期設定では、「ワンタッチRAW+」が割り当てられています。
- ⑧ **フォーカスモード切替レバー**
フォーカスモードを切り替えます。(p.32)
- ⑨ **ライブビュー/消去ボタン (L/)**
ライブビューを表示します。(p.33)
再生モード時は、画像を消去します。(p.42)

⑩ 後電子ダイヤル (🔍)

露出などの設定値を変更します。(p.36)
メニューが表示されているときは、ページを切り替えます。(p.14)
コントロールパネルが表示されているときは、設定を切り替えます。(p.12)
再生モード時は、画像を拡大／複数画像表示します。(p.42)

⑪ 十字キー (▲▼◀▶)

ISO感度／ホワイトバランス／フラッシュモード／ドライブモードの設定画面を呼び出します。(p.12)
メニュー／コントロールパネルが表示されているときは、カーソルの位置や項目を変更します。
再生モードの1画像表示で▼を押すと、再生モードパレットを表示します。(p.43)

⑫ INFOボタン (INFO)

画像モニターの表示を切り替えます。(p.8、p.10)

⑬ モードダイヤル

撮影モードを切り替えます。(p.32、p.34)

⑭ Wi-Fi/Fx2ボタン (Fx2)

機能を割り当てて使用します。
再生モード時は、Wi-Fi機能のオン／オフを切り替えます。(p.44)

⑮ AF/AEロックボタン (AF/AE-L)

SHUTTER半押し代わりにピントを合わせたり、撮影前の露出値を記憶します。

⑯ 再生ボタン (🔄)

再生モードに切り替えます。(p.41) もう一度押すと撮影モードに切り替わります。

⑰ OKボタン (OK)

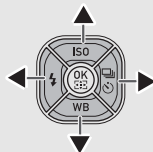
メニュー／コントロールパネルが表示されているときに、選択した項目を決定します。
「AFエリア」が🔍／🔍Aのとき、または🔍／🔍Aのときに押すと、測距点移動モードとダイレクトキーモードを切り替えられます。

⑱ MENUボタン (MENU)

メニューを表示します。メニュー表示中に押すと、1つ前の画面に戻ります。(p.14)

十字キーについて

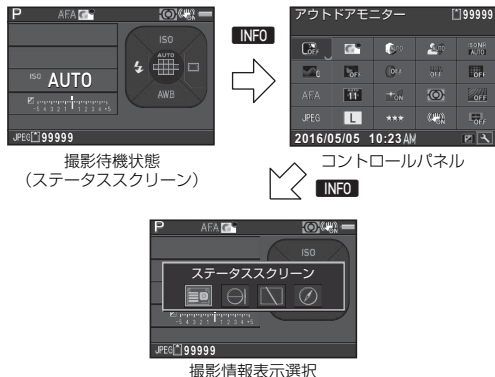
本書では、十字キーを右のように表記します。



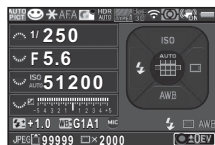
画像モニター

撮影時

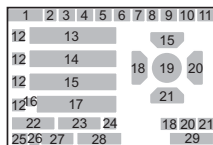
本機での撮影は、ファインダーをのぞいて撮影する方法と、画像モニターを見ながら撮影する方法があります。ファインダーを使った撮影では、画像モニターのステータススクリーンとファインダー内の表示を確認しながら撮影します。(p.32) ファインダーを使わない場合は、画像モニターにライブビュー画像を表示しながら撮影します。(p.33) ステータススクリーンやライブビュー画像などが表示されていて、すぐに撮影が可能な状態を「撮影待機状態」といいます。撮影待機状態で **INFO** を押すと「コントロールパネル」が表示され、設定が変更できます。(p.12) コントロールパネル表示中に **INFO** を押すと、撮影待機状態の表示情報を変更できます。



ステータススクリーン

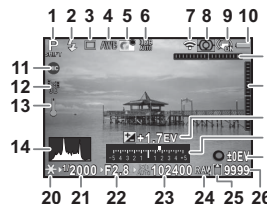


- 1 撮影モード
- 2 AEロック
- 3 フォーカスモード
- 4 カスタムイメージ
- 5 明瞭コントロール/肌色補正/デジタルフィルタ/HDR撮影/Real Resolution
- 6 ローパスセクター
- 7 GPS測位状態
- 8 Wi-Fi接続状態
- 9 測光方式
- 10 Shake Reduction/自動水平補正
- 11 バッテリー残量
- 12 電子ダイヤル操作ガイド
- 13 シャッター速度
- 14 絞り値



- 15 ISO感度
- 16 露出補正/ブラケット撮影
- 17 露出バー
- 18 フラッシュモード
- 19 測距点
- 20 ドライブモード
- 21 ホワイトバランス
- 22 フラッシュ光量補正
- 23 ホワイトバランス微調整
- 24 マイク端子設定
- 25 記録形式
- 26 メモリーカード
- 27 撮影可能枚数/記録可能時間
- 28 多重露出/インターバル撮影撮影回数
- 29 操作ガイド

ライブビュー

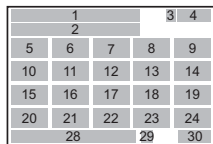


- 1 撮影モード
- 2 フラッシュモード
- 3 ドライブモード
- 4 ホワイトバランス
- 5 カスタムイメージ
- 6 明瞭コントロール/肌色補正/デジタルフィルタ/HDR撮影/Real Resolution
- 7 Wi-Fi接続状態
- 8 測光方式
- 9 Shake Reduction/自動水平補正/Movie SR
- 10 バッテリー残量
- 11 マイク端子設定
- 12 GPS測位状態
- 13 温度警告
- 14 ヒストグラム

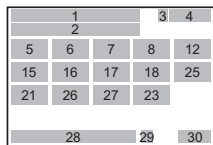


- 15 電子水準器 (左右の傾き)
- 16 電子水準器 (前後の傾き)
- 17 露出補正
- 18 露出バー
- 19 操作ガイド/多重露出/インターバル撮影撮影回数
- 20 AEロック
- 21 シャッター速度
- 22 絞り値
- 23 ISO感度
- 24 記録形式
- 25 メモリーカード
- 26 撮影可能枚数/記録可能時間
- 27 AFエリア「顔検出」顔検出枠

モード



モード



- | | |
|--------------------|-----------------------------|
| 1 機能名称 | 16 AFエリア |
| 2 設定 | 17 AF補助投光 |
| 3 メモリーカード | 18 測光方式 |
| 4 撮影可能枚数／記録可能時間 | 19 ローパスセレクト |
| 5 アウトドアモニター | 20 記録形式 |
| 6 カスタムイメージ | 21 JPEG記録サイズ／動画記録サイズ |
| 7 ハイライト補正 | 22 JPEG画質 |
| 8 シャドウ補正 | 23 Shake Reduction／Movie SR |
| 9 高感度NR | 24 自動水平補正 |
| 10 明瞭コントロール | 25 マイク端子設定 |
| 11 肌色補正 | 26 フレームレート |
| 12 デジタルフィルター | 27 録音レベル |
| 13 HDR撮影 | 28 現在の日時 |
| 14 Real Resolution | |
| 15 AFモード | |

再生時

再生モードの1画像表示では、撮影画像と撮影時の情報が表示されます。

INFO を押すと、1画像表示の表示情報を変更できます。

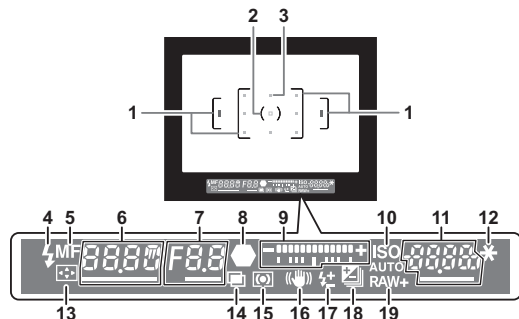


1画像表示
(標準情報表示)



再生情報表示選択

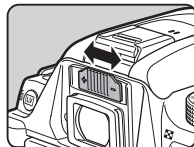
ファインダー



- | | |
|---|---------------------|
| 1 AFフレーム | 9 露出バー／電子水準器 |
| 2 スポット測光フレーム | 10 ISO／ISO AUTO |
| 3 測距点 | 11 ISO感度／露出補正值 |
| 4 フラッシュマーク | 12 AEロック |
| 5 フォーカスモード | 13 測距点移動 |
| 6 シャッター速度／ B
モードタイマー露光時の
露光時間／ブラケット撮
影時のブラケット枚数 | 14 多重露出 |
| 7 絞り値／ブラケット撮影
時のブラケット幅 | 15 測光方式 |
| 8 合焦マーク | 16 Shake Reduction |
| | 17 フラッシュ光量補正 |
| | 18 露出補正／ブラケット撮
影 |
| | 19 記録形式 |

メモ

- ファインダー内の見え方は、視度調整レバーで調節できます。視度調整レバーが操作しづらいときは、アイカップを引き上げて外してください。ファインダー内のAFフレームがはっきり見えるように調整します。



電子水準器

カメラの傾きを電子水準器表示で確認できます。ファインダー内に左右方向の電子水準器と、ライブビュー画面に前後・左右方向の電子水準器が表示できます。(p.9)

コントロールパネルをカスタマイズする

コントロールパネルに表示する機能は、カスタマイズができます。

📷メニュー／📷メニュー／📷メニューの一部がコントロールパネルに登録できます。登録できる機能については、「メニュー一覧」(p.15)を参照してください。

- 1** 撮影待機状態で **INFO** を押す
コントロールパネルが表示

- 2** **🔍** を押す
カスタマイズ画面が表示

- 3** ▲▼◀▶ で変更するパネル
を選択
○で登録内容リセット



- 4** **OK** を押す
機能がポップアップ表示

- 5** ▲▼で登録する機能を選択
「-」は未登録

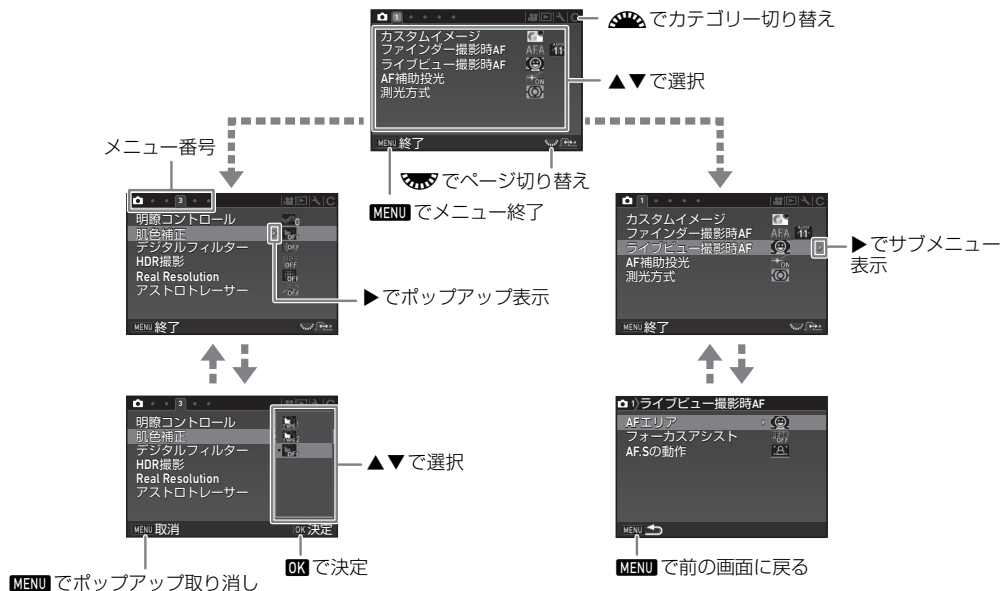


- 6** **OK** を押す
手順3の画面に戻る

- 7** **🔍** を押す
コントロールパネルに戻る

- 8** **MENU** を押す
撮影待機状態に戻る

メニューで設定する



メニュー一覧

撮影メニュー

メニュー	項目	機能	初期設定
📷 1	カスタムイメージ *1 *2	色味やコントラストなどの画像の仕上がり具合を設定	鮮やか
	シーンモード *1 *3	SCNモードのシーンを選択	人物
	ファインダー撮影時AF	AFモード *1	AFA
		AFエリア *1	オート (11点)
		AF.Sの動作	フォーカス優先
		AF.C 1コマ目の動作	オート
		AF.C連続撮影中の動作	オート
		AFホールド	弱
	ライブビュー撮影時AF	AFエリア *1	顔検出
		フォーカスアシスト *1	オフ
		AF.Sの動作	フォーカス優先
	AF補助投光 *1	暗い場所でオートフォーカスするときに補助光を発光	オン
	測光方式 *1	センサーのどの部分で明るさを測り、露出を決めるかを設定	分割
	露出モード *4	U1～U3モード時の露出モードを一時的に変更	－

メニュー	項目		機能	初期設定
📷2	記録設定	記録形式 *1	ファイル形式を設定	JPEG
		JPEG記録サイズ *1	JPEGの記録サイズを設定	L
		JPEG画質 *1	JPEGの画質を設定	★★★
		RAWファイル形式	RAWのファイル形式を選択	PEF
		色空間	使用する色空間を設定	sRGB
	D-Range 設定	ハイライト補正 *1	ダイナミックレンジを拡大し、白とびを防ぐ	オート
		シャドウ補正 *1	ダイナミックレンジを拡大し、黒つぶれを防ぐ	オート
	ノイズリ ダクシ ョン	長時NR *1	低速シャッター時のノイズリダクションを設定	オート
		高感度NR *1	高感度撮影時のノイズリダクションを設定	オート
📷3	明瞭コントロール *1		画像処理で明瞭感を変更	±0
	肌色補正 *1		画像処理で肌質感を向上	オフ
	デジタルフィルター *1		フィルター効果を指定して撮影	フィルターオフ
	HDR撮影 *1		ハイダイナミックレンジ撮影を設定	オフ/±2EV/ オン
	Real Resolution *1		1画素ずつずらした4枚の画像を合成し、高精細な画像を取得	オフ
	アストロトレーサー *1		天体追尾撮影を設定	オフ
📷4	ローパスセクター *1		Shake Reductionユニットを利用して、ローパスフィルター効果をかける	オフ
	Shake Reduction *1		手ぶれ補正機能を設定	オン
	自動水平補正 *1		📷モード時の左右の傾きを補正	オフ
	レンズ補 正	ディストーション補正 *1	レンズ特性によって生じる歪曲収差を補正	オフ
		周辺光量補正 *1	レンズ特性によって生じる周辺光量低下を補正	オフ
		倍率色収差補正 *1	レンズ特性によって生じる倍率色収差を補正	オン
		回折補正 *1	絞りを絞り込んだときの回折ボケを補正	オン
	焦点距離入力 *1		レンズ焦点距離の情報が取得できないレンズを使用している場合に設定	35mm

メニュー	項目		機能	初期設定
 5	ファインダー内表示	電子水準器 ^{*1}	ファインダー内に電子水準器を表示	オフ
		スーパーインポーズ	選択された測距点をファインダー内に赤く点灯	オン
	ライブビュー表示	グリッド表示 ^{*1}	ライブビューのグリッドの種類と色を設定	オフ/黒
		電子水準器 ^{*1}	ライブビューに電子水準器を表示	オン
		ヒストグラム表示	ライブビューにヒストグラムを表示	オフ
		白とび警告	ライブビューに白とび部分を赤で点滅表示	オフ
		フリッカー低減	電源周波数を設定し、ライブビューのちらつきを低減	50Hz
	クイックビュー表示	表示時間	クイックビューの表示時間を設定	1秒
		拡大表示	クイックビューで拡大表示	オン
		RAW追加保存	クイックビューでRAW画像を追加保存	オン
		消去	クイックビューで画像を消去	オン
		ヒストグラム表示	クイックビューにヒストグラムを表示	オフ
		白とび警告	クイックビューに白とび部分を赤で点滅表示	オフ
	その他の表示	ガイド表示	撮影モードを変更したときに、ガイド表示を表示	オン
		配色	ステータススクリーン/コントロールパネル/メニューカーソルの配色を設定	1

メニュー	項目		機能	初期設定
 5	ボタンカスタマイズ	Fx1ボタン	Fx1 の動作を設定	ワンタッチRAW+
		Fx2ボタン	Fx2 の動作を設定	Wi-Fi
		AF/AE-Lボタン	AF/AE-L の動作を設定	AF作動1
		電子ダイヤル	露出モード別に  /  /  の動作を設定	Tv / Av / ➡ P
				-- / ISO / --
				Tv / -- / --
				-- / Av / --
				Tv / Av / P LINE
				Tv / Av / P LINE
		回転方向設定	 /  を操作したときの値の変化	順方向

メニュー	項目		機能	初期設定
 5	モードメモ リ	ISO感度	電源を切ったときに設定を記憶する項目を選択	オン
		露出補正		オン
		フラッシュモード		オン
		フラッシュ光量補正		オン
		ドライブモード		オン
		ホワイトバランス		オン
		カスタムイメージ		オン
		明瞭コントロール		オフ
		肌色補正		オフ
		デジタルフィルター		オフ
		HDR撮影		オフ
		Real Resolution		オフ
		撮影情報表示		オフ
		再生情報表示		オン
		アウトドアモニター		オフ
		赤色画面表示		オフ
	USER モード登 録	設定登録	よく使用する撮影設定をモードダイヤル U1 ～ U3 に登録	CLEAR TONE / HDR LANDSCAPE / ASTROPHOTO
		名称登録	ガイド表示に表示される名称を登録	CLEAR TONE / HDR LANDSCAPE / ASTROPHOTO
		登録済み内容確認	登録されている設定内容を表示	—
		USERモードリセット	設定内容をリセット	

*1 コントロールパネル登録可

*2 **SCN**モード以外有的时候に表示

*3 **SCN**モードの有的时候に表示

*4 **U1**～**U3**モードの有的时候のみ表示

動画メニュー

メニュー	項目		機能	初期設定
 1	カスタムイメージ *1		色味やコントラストなどの画像の仕上がり具合を設定	鮮やか
	ライブ ビュー撮 影時AF	AFモード	動画撮影時のAFモードを選択	AF.S
		AFエリア *1	動画撮影時のピント合わせの位置を選択	多点オート
		フォーカスアシスト *1	ピントが合った部分の輪郭を強調	オフ
	AF補助投光 *1		暗い場所でオートフォーカスするときに補助光を発光	オン
	測光方式 *1		センサーのどの部分で明るさを測り、露出を決めるのかを設定	分割
	記録設定	記録サイズ *1	記録サイズを設定	FullHD
		フレームレート *1	フレームレートを設定	30p
	録音レベル *1		記録時の録音レベルを設定	オート
 2	D-Range 設定	ハイライト補正 *1	ダイナミックレンジを拡大し、白とびを防ぐ	オート
		シャドウ補正 *1	ダイナミックレンジを拡大し、黒つぶれを防ぐ	オート
	デジタルフィルター *1		フィルター効果を指定して撮影	フィルターオフ
	Movie SR *1		手ぶれ補正機能を設定	オン
	ライブ ビュー表 示	グリッド表示 *1	ライブビューのグリッドの種類と色を設定	オフ/黒
		電子水準器 *1	ライブビューに電子水準器を表示	オン
		ヒストグラム表示	ライブビューにヒストグラムを表示	オフ
		白とび警告	ライブビューに白とび部分を赤で点滅表示	オフ
		フリッカー低減	電源周波数を設定し、ライブビューのちらつきを低減	50Hz

メニュー	項目		機能	初期設定
 2	ボタンカスタマイズ	AF/AE-Lボタン	AF/AE-Lの動作を設定	AF作動1
			露出モード別に  /  /  の動作を設定	--/--/--
				--/Av/P LINE
				Tv/Av/P LINE
				Tv/Av/P LINE
		回転方向設定	 /  を操作したときの値の変化	順方向

*1 コントロールパネル登録可

再生メニュー

メニュー	項目		機能	初期設定
 1	スライドショー	表示間隔	画像切り替えの間隔を設定	3秒
		画面効果	画像切り替え時の効果を選択	オフ
		繰返し再生	最後の画像の再生後に最初から再生を繰り返す	オフ
		動画自動再生	スライドショー中に動画も再生	オン
	全画像プロテクト		保存されているすべての画像をプロテクト	-
	全画像消去		保存されているすべての画像を消去	-
	クイック拡大		拡大表示での最初の拡大率を設定	オフ
	再生音量		動画再生時の音量を設定	10
	画面表示	画像の自動回転	縦位置で撮影した画像や回転情報を変更した画像を再生時に回転して表示	オン
		グリッド表示	グリッドの種類と色を設定	オフ/黒
		白とび警告	再生モードの標準情報表示/ヒストグラム表示/情報表示なしで白とび部分を赤で点滅表示	オフ

詳細設定メニュー

メニュー	項目		機能	初期設定
メニュー1	Language/言語		表示言語の切り替え	English
	日時設定		年月日の表示形式と日時を設定	2016/01/01
	ワールドタイム		現在地と指定した都市の日時を切り替えて表示	現在地
	文字サイズ		メニュー選択時の文字サイズを拡大	標準
	電子音	音量	電子音の音量を設定	3
		合焦音	合焦時の電子音	オン
		AE-L	AF/AE-LでAEロックしたときの電子音	オン
		セルフタイマー	セルフタイマー撮影でのカウントダウン時の電子音	オン
		リモコン	リモコン撮影でのカウントダウン時の電子音	オン
		ミラーアップ	ミラーアップ撮影時の電子音	オン
		測距点移動	▲▼◀▶の動作を測距点移動モードに切り替えたときの電子音	オン
		ワンタッチRAW+	Fx1 / Fx2でRAW+撮影に切り替えたときの電子音	オン
		Wi-Fi	Fx1 / Fx2でWi-Fi機能のオン／オフを切り替えたときの電子音	オン
		赤色画面表示	Fx1 / Fx2で赤色画面表示のオン／オフを切り替えたときの電子音	オン
		電子水準器	Fx1 / Fx2で電子水準器表示のオン／オフを切り替えたときの電子音	オン

メニュー	項目		機能	初期設定
2	LCD設定		画像モニターの明るさ／彩度／色調整を設定	0
	アウトドアモニター		屋外での画像モニターの明るさを調整	オフ
	赤色画面表示 *1		夜間などの暗い場所での撮影時に、画像モニターを赤く表示	オフ
	インジ ケーター	ボディライト	電源ON時の電源レバーの点灯	明るい
		セルフタイマー	ドライブモード「セルフタイマー（12秒）」のカウントダウン時の点滅	オン
		リモコン	ドライブモード「リモコン」の撮影待機中の点滅	オン
GPSユニットのランプ		GPSユニット装着時のランプの点灯	オン	
3	Wi-Fi *1		Wi-Fi機能の動作を設定	オフ
	GPS/電 子コンパ ス	自動時刻修正	日時設定を自動的に補正	オン
		キャリブレーション	方位情報のキャリブレーションを実行	-
	USB接続		パソコンと接続するときの転送モードを設定	MSC
	HDMI出力		AV機器とHDMI端子で接続するときに設定	オート
	マイク端子設定 *1		マイク／ケーブルスイッチ兼用端子に接続する機器を設定	自動選択
	オートパワーオフ		一定時間操作しなかったときに、自動的に電源が切れるまでの時間を設定	1分

メニュー	項目	機能	初期設定
4	フォルダー新規作成	メモリーカードに新しいフォルダーを作成	－
	フォルダー名	画像が保存されるフォルダー名を設定	日付
	ファイル名	画像に付与されるファイル名を設定	IMGP／_IMG
	ファイル No.	連番設定	フォルダーが新しくなったときに画像のファイル番号を継続
		ファイルNo.リセット	ファイル番号をリセットし、0001から開始
	著作権情報	Exifに書き込む撮影者と著作権者の情報を設定	オフ
5	フォーマット	メモリーカードをフォーマット	－
	ピクセルマッピング	センサーの画素の欠損部分を補完	－
	ダストリムーバル	センサーを振動させてクリーニング	オフ／オフ
	センサークリーニング	センサーをブローアでクリーニングするために、ミラーアップ	－
	認証マーク	無線LANの認証マークを表示	－
	バージョン情報	カメラのファームウェアのバージョンを表示	－
	リセット	カメラメニュー／メニュー／メニュー／メニュー／ダイレクトキー／コントロールパネル／再生モードパレットの設定内容をリセット	－

*1 コントロールパネル登録可

カスタムメニュー

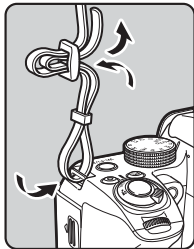
メニュー	項目	機能	初期設定
C1	1 露出設定ステップ	露出設定の調整ステップを設定	1/3 EVステップ
	2 ISO感度ステップ	ISO感度の調整ステップを設定	1 EVステップ
	3 測光作動時間	測光タイマーの作動時間を設定	10秒
	4 連動外の自動補正	適正露出が得られないときに自動補正	オフ
	5 測距点と露出の関連付	AFエリア内の測距点と露出値の関連付けを設定	オフ
	6 AFロック時のAE-L	フォーカスロック時のAEロックを設定	オフ
	7 B時の撮影方法	BモードのSHUTTERの動作を設定	Type1
C2	8 充電中のリリース	フラッシュ充電中の撮影可否を設定	オフ
	9 リモコン時のAF	リモコン撮影時のオートフォーカス動作を設定	オフ
	10 ブラケット撮影順	ブラケット撮影時の撮影順を設定	0 - +
	11 ワンブッシュブラケット	ブラケット撮影時に1回のリリースで全コマ撮影	オフ
	12 インターバル撮影の動作	インターバル撮影／インターバル合成／インターバル動画のときの撮影間隔を、露光開始時からカウントするか露光終了時からカウントするか設定	撮影間隔
	13 インターバル撮影中のAF	インターバル撮影／インターバル合成／インターバル動画／スターストリームのときに、1回目でもフォーカス位置を固定するか撮影ごとにオートフォーカスを作動させるかを設定	フォーカスロックする
	14 WBの光源調整範囲	ホワイトバランスで光源を指定した場合に、自動で微調整を行うかどうかを設定	固定

メニュー	項目	機能	初期設定
C3	15 白熱灯下のオートWB	ホワイトバランス「オートWB」のときの白熱灯の色味を設定	強
	16 フラッシュ発光時のWB	フラッシュ発光時のホワイトバランスを設定	オートWB
	17 色温度ステップ	ホワイトバランス「色温度」の調整ステップを設定	ケルビン
	18 十字キーの機能	AFエリア「セレクト」のときの▲▼◀▶の動作を選択	Type1
	19 SRの自動オフ	ドライブモードがセルフタイマー／リモコンのときに、Shake Reductionを自動的にオフに設定	自動オフする
	20 回転情報の記録	回転情報を記録	オン
	21 メニュー選択の記憶	直前に操作したメニューを記憶、次に MENU を押したときに記憶したメニューを表示	記憶しない
C4	22 キャッチインフォーカス	マニュアルフォーカスレンズ使用時に、ピントが合うと自動的にシャッターをきる「キャッチインフォーカス撮影」を行う	オフ
	23 AF微調整	オートフォーカスのピント位置を微調整	オフ
	24 絞りリングの使用	レンズの絞りリングが A 位置以外のときも撮影可能に設定	禁止
	カスタムのリセット	C メニューの設定内容をリセット	－

撮影前の準備

ストラップを取り付ける

- 1** ストラップの先端をカメラの吊り環に通し、留め具の内側に固定する

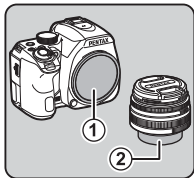


- 2** もう一方も同様に取り付ける

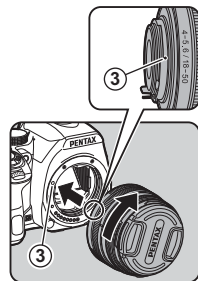
レンズを取り付ける

- 1** カメラの電源がOFFになっていることを確認
- 2** ボディマウントカバー (①) とレンズマウントカバー (②) を外す

カバーを外したレンズは、カメラに取り付ける面を上にして置く

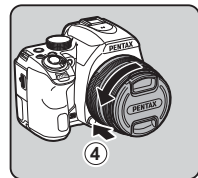


- 3** カメラとレンズのマウント指標 (赤点/③) を合わせて差し込み、レンズを右に回す「カチッ」と音がするまで回す



取り外すとき

レンズキャップを取り付ける
→レンズ取り外しボタン (④) を押しながらレンズを左へ回す



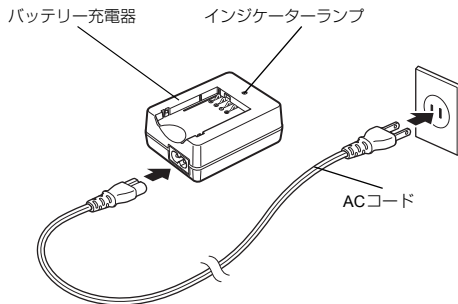
●注意

- 沈胴式レンズを装着している場合は、レンズが収納された状態では撮影や一部の機能の設定ができません。また、カメラが動作中にレンズを収納すると、処理が中断されます。沈胴式レンズの操作については、「ファインダーを使って撮影する」(p.32)の手順2を参照してください。

バッテリーを充電する

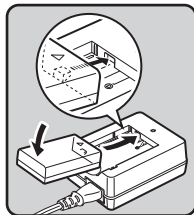
1 バッテリー充電器にACコードを接続

2 ACコードをコンセントに差し込む



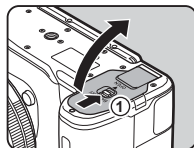
3 ▲マークがある面を上にしてバッテリーを充電器にセット

バッテリーを充電器に斜めに差し込んでからはめ込む
充電中はインジケータランプ点灯（充電時間の目安：最大約240分）
ランプが消灯したら充電完了

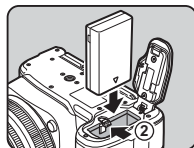


バッテリーを入れる

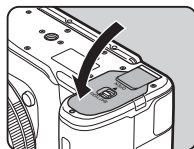
1 バッテリーカバーを開ける
バッテリーカバー開放レバー
①をスライドさせて開ける



2 バッテリーの▲マークをカメラの外側に向け、ロックするまで挿入
取り出すときは、バッテリーロックレバーを②の方向に押す



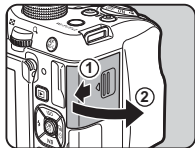
3 バッテリーカバーを閉める



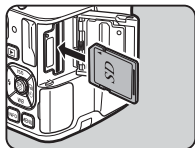
メモリーカードをセットする

1 カメラの電源がOFFになっていることを確認

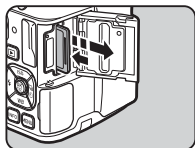
2 メモリーカードカバーを①の方向にスライド



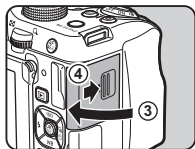
3 メモリーカードのラベル面を画像モニター側に向けてメモリーカードスロットの奥まで挿入



取り出すときは、メモリーカードをさらに押し込む

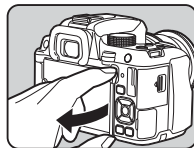


4 メモリーカードカバーを閉じ、④の方向にスライド

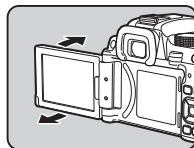


画像モニターを開く

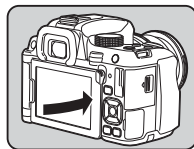
1 画像モニターの上下を持ち、横に180°開く



2 画像モニターを向こう側に180°回転させる
手前側は90°まで回転可能

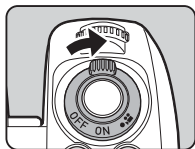


3 画像モニターを本体側に閉じる

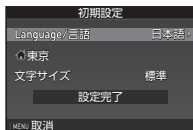


言語と日時を設定する

- 1** 電源レバーを「ON」に合わせる
ランプが緑で点灯
「Language/言語」画面が表示



- 2** ▲▼◀▶で言語を選択してOKを押す
選択した言語で「初期設定」画面が表示
☷に都市名が正しく設定されているときは、手順7へ



- 3** ▼で選択枠を☷に移動し、▶を押す
「☷現在地」画面が表示

- 4** ◀▶で都市を選択
☷で地図表示切り替え

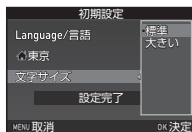


- 5** ▼で「夏時間」を選択、◀▶で☐/☑を設定

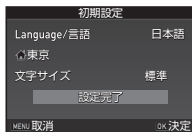
- 6** OKを押す
「初期設定」画面に戻る

- 7** ▼で「文字サイズ」を選択、▶を押す

- 8** ▲▼で標準/大きいを選択、OKを押す
「大きい」に設定すると、選択中のメニュー項目が大きく表示



- 9** ▼で「設定完了」を選択、OKを押す
「日時設定」画面が表示



- 10** ▶を押し、▲▼で日付の表示スタイルを選択

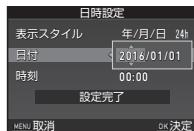


- 11** ▶を押し、▲▼で24h/12hを選択

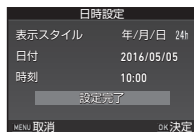
- 12** OKを押す
選択枠が「表示スタイル」に戻る

- 13** ▼を押してから▶を押す
選択枠が西暦年に移動

14 ▲▼で西暦年を設定 同様に月／日と時刻を設定



15 ▼で「設定完了」を選択、 OKを押す 「画面表示」画面が表示



16 ◀▶で配色を選択 1～12の中から、ステータス スクリーン／コントロールパ ネル／メニューカーソルの色 を選択



17 OKを押す 撮影モードになり、撮影できる状態になる

メモリーカードをフォーマットする

4

1 MENUを押す カメラメニューが表示

2 太陽/月/星アイコンでカメラメニューを表示

3 ▲▼で「フォーマット」を選択、▶を押す 「フォーマット」画面が表示

4 ▲で「フォーマット」を選 択、OKを押す フォーマット開始→カメラ メニューに戻る

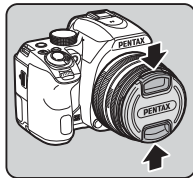


5 MENUを押す 撮影モードになり、撮影できる状態になる

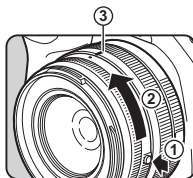
撮影のキホン

ファインダーを使って撮影する

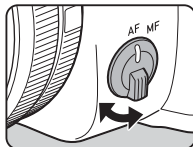
- 1 図の矢印部分を押してレンズキャップを外す



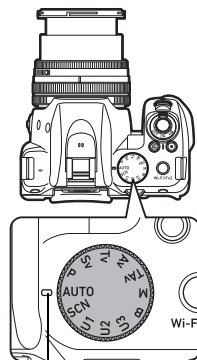
- 2 沈胴式レンズ装着時は、ズームリング上のボタン(①)を押しながら②の方向に回す
レンズを収納するときは、ボタンを押しながら②の逆方向に回し、白い点を③の位置に合わせる



- 3 フォーカスモード切替レバーをAFに合わせる



- 4 モードダイヤルを回してダイヤル指標にAUTOを合わせる

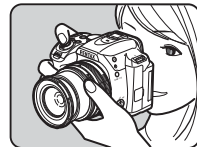


ダイヤル指標

画像モニターに撮影モードが表示(ガイド表示)



- 5 ファインダーをのぞいて被写体を確認
ズームレンズ使用時は、ズームリングを回して画角を調整



6 AFフレーム内に被写体を入れて SHUTTER 半押し



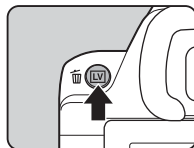
7 SHUTTER 全押し 撮影画像が画像モニターに表示 (クイックビュー)

クイックビュー中のボタン・ダイヤル操作

	消去
	拡大表示
	RAW画像を追加保存 (保存可能時のみ)

ライブビュー画像を見ながら撮影する

1 「ファインダーを使って撮影する」(p.32) の手順5で、 LV を押す 画像モニターにライブビュー画像が表示



2 画像モニターの AF フレーム 内に被写体を入れて SHUTTER 半押し



ボタン・ダイヤル操作

OK	拡大表示 で倍率変更 (最大16倍) で拡大位置移動 で中央に戻る OK で等倍に戻る
LV	ライブビュー終了

以降の操作は、ファインダー撮影と同様

静止画の撮影モードの種類

撮影モード	機能	参照
AUTO オートピクチャーモード	☺ (標準) / 👤 (人物) / 🌄 (風景) / 🌸 (マクロ) / 🐾 (動物) / 🌃 (夜景人物) / 🌅 (夕景) / 🌤 (青空) / 🌲 (フォレスト) から最適な撮影モードをカメラが自動選択	p.32
SCN シーンモード	さまざまな撮影シーンから目的に合った撮影モードを選択	p.34
P / Sv / Tv / Av / TAv / M / B 露出モード	シャッター速度 / 絞り値 / ISO感度を設定して撮影	p.35
U1 CLEAR TONE	クリアで明るい雰囲気仕上げる設定	-
U2 HDR LANDSCAPE	風景写真をドラマチックな印象に仕上げる設定	
U3 ASTROPHOTO	背景の黒浮きを抑えて星の色を美しく再現する設定	

●メモ

- 撮影モードによって設定できる機能に制限があります。「撮影モードの機能制限」(p.45)を参照してください。
- U1～U3**には、よく使う露出モードと撮影設定をまとめて登録することができます。

シーンモード

1 モードダイヤルを**SCN**に合わせる
シーンモード選択画面が表示

2 シーンを選択



👤 人物	肌色を健康的に仕上げる
🌄 風景	木々の緑を鮮やかに仕上げる
🌸 マクロ	花などに近づいて撮影
🐾 動物	動きがある被写体を撮影
🌃 夜景人物	夜景を背景に人物を撮影
🌅 夕景	朝焼けや夕焼けを撮影
🌤 青空	深い青で青空を撮影
🌲 フォレスト	木漏れ日や木々の緑を鮮やかに表現
🌃 夜景	夜景を撮影
🌃 夜景HDR	±1の露出が異なる3枚の画像を合成して仕上げる
🌃 ナイトスナップ	暗いところでのスナップ撮影
🍷 料理	彩度を高めにし料理などを撮影
🐶 ペット	動き回るペットなどを撮影
👶 キッズ	動きの多い子供の肌色を健康的に撮影

サーフ&スノー	砂浜や雪山など背景が明るい場所で撮影
逆光シルエット	逆光で被写体がシルエットになるように仕上げる
キャンドルライト	ろうそくの明かりを生かして撮影
ステージライト	暗いところで動きのある被写体を撮影
美術館	フラッシュが使用できない場所での撮影

3

OKを押す

撮影待機状態

シーンを変更するときはを回す

露出モード

○：設定可 △：条件付きで可 ×：設定不可

モード	シャッター 速度変更	絞り値 変更	ISO感度 変更	露出補正
P プログラム 自動露出	△ ^{*1}	△ ^{*1}	○	○
Sv 感度優先 自動露出	×	×	○ ^{*2}	○
Tv シャッター 優先自動露出	○	×	○	○
Av 絞り優先 自動露出	×	○	○	○
TAv シャッター& 絞り優先 自動露出	○	○	×	○
M マニュアル 露出	○	○	○ ^{*2}	○
B バルブ露出	×	○	○ ^{*2}	×

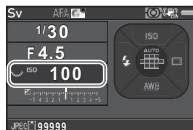
^{*1} 5 メニュー「ボタンカスタマイズ」の「電子ダイヤル」で変更する値を指定可能

^{*2} ISO AUTO選択不可

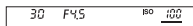
^{*3} ISO AUTO固定

^{*4} タイマー露光では、10秒～20分のシャッター速度が設定可能

- 1** モードダイヤルを設定する露出モードに合わせる
ステータススクリーンには、変更可能な値に  /  が表示



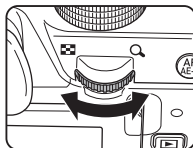
ファインダー内には、変更可能な値にアンダーラインが表示



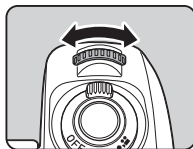
ライブビュー撮影では、変更可能な値に ▶ が表示



- 2**  を回す
Av / **TAv** / **M** / **B** モードの絞り値が変更
Sv モードはISO感度に変更

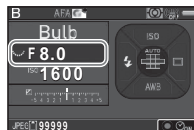


- 3**  を回す
Tv / **TAv** / **M** モードのシャッター速度が変更



バルブ撮影

- 1** モードダイヤルを **B** に合わせる
2  で絞り値を設定する



- 3** タイマー露光を設定するときは  を押し、 で時間を設定する
10" ~ 20'00" で設定

- 4** **SHUTTER** を押す
SHUTTER を押している間、露光される
手順3でタイマー露光を設定したときは、**SHUTTER** 全押し後、設定した時間で露光終了

ISO感度を設定する

1 撮影待機状態で▲を押す

2 ▲▼で選択

ISO	自動調整
AUTO	上限値／下限値を設定
ISO	ISO 100～102400の間で固定値を設定



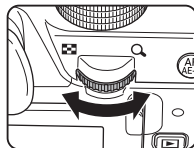
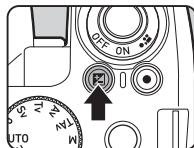
3 太陽マーク／月マークで値を変更

4 OKを押す

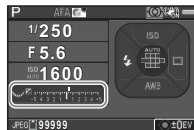
撮影待機状態に戻る

露出を補正する

1 [OK]を押してから太陽マークを回す



補正中はステータススクリーン／ファインダー内／ライブビューに☀と補正値が表示



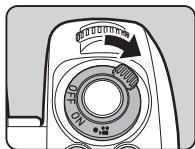
ボタン・ダイヤル操作

[OK] 設定の開始／終了

○ リセット

動画を撮影する

1 電源レバーを に合わせる



ランプが赤で点灯し、ライブビューが表示



録画可能時間

2 モードダイヤルを設定する撮影モードに合わせる 撮影モードによって、以下の設定が可能

P / Av / TAv / M	各露出モードで動作（絞り値は撮影前のみ。 M モードはISO感度も変更可）
U1～U3	登録されている露出モードに従って動作
その他	P モードで動作

3 ピントを合わせる **AF**モード時は、**SHUTTER** 半押し

4 **SHUTTER** 全押し

撮影開始

画像モニター左上に「REC」が点滅

5 もう一度 **SHUTTER** を押す 撮影終了

6 モードを終了するときには、電源レバーをONに戻す モードのファインダー撮影に戻る

動画撮影時の音声について

 1メニューの「ライブビュー撮影時AF」の「AFモード」で **AF.C** を選択した場合はフォーカス駆動音が録音されます。

フォーカス駆動音が気になる場合は、 1メニューの「録音レベル」で音量を調整いただくか、外部マイクをご利用ください。

フラッシュを使用する

1 撮影待機状態で◀を押す

2 フラッシュモードを選択



自動発光	周りの明るさを自動測定し、発光をカメラが判断
赤目軽減 自動発光	自動発光前に赤目軽減のための予備発光を行う
強制発光	常に発光
赤目軽減 強制発光	強制発光前に赤目軽減のための予備発光を行う
スローシンクロ	遅いシャッター速度に設定 夕景などを背景に人物撮影をする ときなどに利用
赤目軽減 スローシンクロ	スローシンクロ発光前に、赤目軽減のための予備発光を行う
後幕シンクロ	シャッター後幕が閉じる直前に発光、遅いシャッター速度に設定 動く被写体の光跡を、後ろに流れるように写すことが可能
マニュアル発光	発光量をFULL～1/128で設定

ボタン・ダイヤル操作



光量補正
(マニュアル発光) 発光量選択



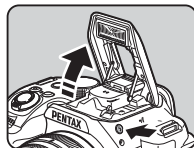
リセット

3 OKを押す

撮影待機状態に戻る

4 ❏を押す

内蔵フラッシュがポップアップ

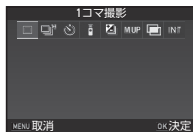


メモ

- 撮影モードによって選択できるフラッシュモードが異なります。

ドライブモードを設定する

1 撮影待機状態で▶を押す



2 ドライブモードを選択

1コマ撮影 (□)	通常の撮影
連続撮影 (□□ / □□)	SHUTTER を押し続けている間に連続して撮影
セルフタイマー (○ / ○ / ○)	SHUTTER を押してから12秒後 / 2秒後に撮影
リモコン (i / i _{SS} / i ₂)	リモコンで撮影
ブラケット撮影 ([B] / [B] / [B])	露出が異なる画像を連続して撮影
ミラーアップ撮影 (MUP / MUP)	ミラーをアップして撮影
多重露出 ([M] / [M] / [M])	任意の枚数を1枚の画像に合成しながら撮影
インターバル撮影 (INT / INT / INT)	一定間隔で自動的に連続撮影

3 詳細設定を変更するときは [INFO] を押して設定、[OK] を押す

4 [OK] を押す

撮影待機状態に戻る

● 注意

- 一部の撮影モードまたは設定している機能によっては、選択できるドライブモードが制限されます。(p.45)

● メモ

- リモコンモード時は、リモコンオフ / リモコンのみ選択できます。

ホワイトバランスを設定する

1 撮影待機状態で▼を押す

2 ホワイトバランスを選択
 ☀ / ☁ / K は ☀ で種類 / 番号を選択



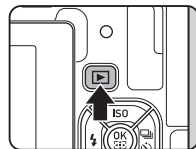
AWB	オートWB
☀ _A	マルチパターンオートWB
☀	太陽光
☁	日陰
☁	曇天
☀	☀ 日光色蛍光灯 ☀ 昼白色蛍光灯 ☀ 白色蛍光灯 ☀ 電球色蛍光灯
☀	白熱灯
CTE	Color Temperature Enhancement
☀	マニュアルWB1~3
K	色温度1~3

3 OKを押す

撮影待機状態に戻る

画像の確認

1 再生を押す



再生モードになり、最新画像が表示
 (1画像表示)



2 画像を確認

ボタン・ダイヤル操作

◀ / 半円左	前の画像を表示
▶ / 半円右	次の画像を表示
🗑️	消去
半円右	拡大表示（最大16倍） ▲▼◀▶で拡大位置移動 ○で中央に戻る OKで全体表示に戻る
半円左	分割表示
📐	RAW画像を追加保存（保存可能時のみ）
INFO	表示情報切り替え（p.10）
▼	再生モードパレット表示（p.43）

動画の再生

1 再生モードの1画像表示で再生する動画を表示



ボタン・ダイヤル操作

▲	再生／一時停止
▶	（一時停止中）コマ送り
▶長押し	早送り再生
◀	（一時停止中）コマ戻し
◀長押し	早戻し再生
▼	停止
半円	音量調節（21段階）
📐	（一時停止中）表示中のコマをJPEG形式で保存
INFO	標準情報表示／情報表示なし切り替え

再生モードパレット

再生に関する機能は、**1**メニューのほかに、再生モードパレットで指定します。

再生モードパレットは、再生モードの1画像表示のときに▼を押すと表示されます。



項目	機能
画像回転 *1	画像の回転情報を変更
デジタルフィルター *1	デジタルフィルターで加工
色モアレ補正 *1 *2	色モアレが発生した画像を補正
リサイズ *1 *2	画像の記録サイズを変更
トリミング *1	画像の必要な部分だけを切り取り
プロテクト	画像を誤って消去しないように保護
スライドショー	画像を連続再生
マニュアルWB登録 *1	撮影済み画像のホワイトバランス設定値をマニュアルホワイトバランスに登録
クロスプロセス登録	カスタムイメージのクロスプロセスで撮影した画像の設定値をお気に入りに登録
RAW展開 *3	RAW画像をJPEGに変換して保存
動画編集 *4	動画を分割または不要部分を消去

*1 動画表示時は実行不可

*2 RAW画像表示時は実行不可

*3 RAW画像保存時のみ実行可能

*4 動画表示時のみ実行可能

画像の共有

Wi-Fiを有効にする

電源を入れたときは、Wi-Fi機能は無効になっています。以下のいずれかの操作で有効に設定します。

メニューで設定する



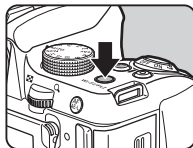
- 1 Wi-Fiメニュー「Wi-Fi」を選択、▶を押す
- 2 「動作モード」をオンに設定



- 3 MENU を2回押す

Fx2を利用する

- 1 再生モードの1画像表示で、Fx2を長押しする
Wi-Fi機能が無効にするときは、もう一度Fx2を長押しする



●注意

- 初期設定では、Fx2長押しでWi-Fiのオン／オフが切り替えられます。5メニュー「ボタンカスタマイズ」で設定を変更している場合は、上記操作はできません。

通信端末で操作する

本機と通信端末をWi-Fiで接続し、専用アプリ「Image Sync」を使って以下の機能が利用できます。

リモート撮影	通信端末に本機のライブビュー画像を表示し、通信端末を操作して露出設定や撮影を行う
画像閲覧	本機のメモリーカードに保存されている画像を通信端末に表示し、画像を取り込む

Image SyncはiOSとAndroidに対応しています。Image Syncは、App StoreまたはGoogle Playからダウンロードしてください。対応OSなどの詳細は、ダウンロードサイトを参照してください。

撮影モードの機能制限

×：組み合わせ不可 △：制限付きで組み合わせ可

撮影モード 機能		AUTO	SCN									B	
													
ISO感度								×	×		×	ISO AUTO 不可	
フラッシュ							×	×			×		×
ドライブ モード	連続撮影				Q固定			×		Q固定		×	×
	セルフタイマー				×					×			×
	リモコン				×					×			のみ
	ブラケット撮影				×			×		×		×	×
	多重露出				×			×		×			×
	インターバル撮影				×					×		×	×
	インターバル合成				×			×		×		×	×
	インターバル動画				×					×		×	×
	スターストリーム				×			×		×		×	×
ファインダー撮影時 AF		A.F.A 固定	A.F.S 固定	A.F.S 固定	A.F.C 固定	A.F.S 固定	A.F.S 固定	A.F.S 固定	A.F.C 固定	A.F.C 固定	A.F.C 固定		

機能 \ 撮影モード	AUTO	SCN									B	
			  			  						
記録形式 RAW / RAW+												×
ホワイトバランス	AWB 固定	AWB 固定	AWB 固定	AWB 固定	AWB 固定	AWB 固定	AWB 固定	AWB 固定	AWB 固定	AWB 固定		
カスタムイメージ	×*1	×*1	×*1	×*1	×*1	×*1	×*1	×*1	×*1	×*1		
明瞭コントロール/ 肌色補正							×					
デジタルフィルター							×					
HDR撮影				×			×*2		×		×	×
Real Resolution				×			×		×		×	×
ローパスセクター				△*3			×		△*3		△*3	×
Shake Reduction							オン 固定				×	
バッファ RAW保存				×					×			×

*1 撮影モードによって固定値がプリセット

*2 HDR AUTO設定

*3 ブラケット不可

特殊機能の組み合わせ制限

×：組み合わせ不可 △：制限付きで組み合わせ可

		明瞭コントロール／ 肌色補正／ デジタル フィルター	HDR撮影	Real Resolution	アストロ トレーサー	ローパス セクター	ディストーション補正／ 回折補正	バッファ RAW保存
	フラッシュ		×	×				
ドライ ブモ ード	連続撮影		×	×	×	△ ^{*2}		×
	ブラケット撮影		×	×	×	△ ^{*2}		
	ミラーアップ撮影		×			△ ^{*2}		
	多重露出	×	×	×	×	△ ^{*2}	×	
	インターバル撮影	△ ^{*1}	△ ^{*1}	×	×	△ ^{*2}		△ ^{*3}
	インターバル合成	×	×	×	×	△ ^{*2}	×	△ ^{*3}
	インターバル動画	△ ^{*1}	△ ^{*1}	×	×	△ ^{*2}		×
	スターストリーム	×	×	×	×	△ ^{*2}	×	×
	HDR撮影	×		×	×	×		
	Real Resolution	×	×		×	×		
	ローパスセクター		×	×	△ ^{*2}			

*1 「撮影間隔」の最短値に制限あり

*2 ブラケット不可

*3 最終コマのみ保存可能

各種レンズ使用時の機能

DA/DA L/D FA/FA J/FAレンズ、または絞り **A** 位置があるレンズを絞り **A** 位置で使用すると、本機の撮影モードがすべて利用できます。

使用するレンズによって、以下の制限があります。

○：使用可能 △：機能制限あり ✕：使用不可

機能	レンズグループ [マウント名称]	DA DA L D FA	FA J FA ^{*6}	F ^{*6}	A	M P
		[KAF] [KAF2] [KAF3] [KAF4]	[KAF] [KAF2]	[KAF]	[KA]	[K]
オートフォーカス (レンズ単体使用) (AFアダプター 1.7×使用) ^{*1}		○ —	○ —	○ —	— △	— △
マニュアルフォーカス (フォーカスインジケーター 表示の利用) ^{*2} (マウント面の利用)		○	○	○	○	○
クイックシフトフォーカス		△ ^{*4}	✕	✕	✕	✕
測距点「オート」		○	○	○	△ ^{*8}	✕
測光方式「分割」		○	○	○	○	✕
P / Sv / Tv / Av / TAv モード		○	○	○	○	△ ^{*9}
M モード		○	○	○	○	△
P-TTLオートフラッシュ 撮影 ^{*3}		○	○	○	○	✕
レンズ焦点距離の自動取得		○	○	○	✕	✕
レンズ補正		○ ^{*5}	△ ^{*7}	✕	✕	✕

- *1 レンズの開放F値がF2.8、またはそれより明るいレンズで**A**位置でのみ使用可能
- *2 レンズの開放F値がF5.6、またはそれより明るいレンズのみ使用可能
- *3 内蔵フラッシュまたはAF540FGZ / AF540FGZ II / AF360FGZ / AF360FGZ II / AF201FG / AF200FG / AF160FC使用時
- *4 対応レンズのみ可能
- *5 DA FISH EYE 10-17mmは、ディストーション補正 / 周辺光量補正無効
- *6 FA SOFT 28mm F2.8 / FA SOFT 85mm F2.8 / F SOFT 85mm F2.8では、**C4**メニュー「24 絞りリングの使用」で「許可」を設定した上で、手動絞りの範囲でのみ設定した絞り値で撮影可能
- *7 以下のFAレンズでレンズ補正可能（絞り **A** 位置以外では、ディストーション補正 / 倍率色収差補正のみ可）
FA★24mm F2 AL [IF] / FA 28mm F2.8 AL / FA 31mm F1.8 Limited / FA 35mm F2 AL / FA 43mm F1.9 Limited / FA 50mm F1.4 / FA 77mm F1.8 Limited / FA★85mm F1.4 [IF] / FA★200mm F2.8 ED [IF] / FA★MACRO 200mm F4 ED / FA★300mm F2.8 ED [IF] / FA★300mm F4.5 ED [IF] / FA★400mm F5.6 ED [IF] / FA★600mm F4 ED [IF] / FA★28-70mm F2.8 ED [IF] / FA★80-200mm F2.8 ED [IF] / FA★250-600mm F5.6 ED [IF]
- *8 「スポット」固定
- *9 絞りは開放の**Av**（絞りリング無効）

主な仕様

型式

型式	P-TTLフラッシュ内蔵 TTL AE・AF一眼レフデジタルカメラ
レンズマウント	ペンタックスバヨネット KAF2マウント (AFカブラー・情報接点・電源接点付き)
使用レンズ	KAF4、KAF3、KAF2 (パワーズーム非対応)、KAF、KAマウントレンズ

撮像部

撮像素子	種類：原色フィルター／CMOS、サイズ：23.5×15.6mm
有効画素数	約2424万画素
総画素数	約2478万画素
ダストリムーバル	撮像素子駆動およびSPコーティング
感度 (標準出力感度)	ISO AUTO / 100～102400 (1 EVステップ、1/2 EVステップまたは1/3 EVステップ)
手ぶれ補正	撮像素子シフト方式 (SR : Shake Reduction)
ローパスセレクト	SRユニットを用いたモアレ低減機能、オフ / Type1 / Type2 / ブラケット (3枚)

記録形式

画像ファイル形式	RAW (PEF / DNG)、JPEG (Exif 2.3準拠)、DCF 2.0準拠
記録サイズ (画素数)	JPEG :  (24M : 6000×4000)、  (14M : 4608×3072)、  (6M : 3072×2048)、  (2M : 1920×1280) RAW :  (24M : 6000×4000)
画質	RAW (14bit) : PEF、DNG JPEG : ★★★ (スーパーファイン)、★★ (ファイン)、★ (エコノミー)、RAWとJPEGの同時記録可能
色空間	sRGB、AdobeRGB

記録媒体	SD、SDHC、SDXCメモリーカード (SDHC、SDXCメモリーカードはUHS-I規格に対応)
記録フォルダー	フォルダー名設定：日付 (100_1018、101_1019...)、任意 (初期値はPENTX)
記録ファイル	ファイル名設定可能 (初期値はIMGP****) ファイルNo.設定：連番設定、リセット

ファインダー

方式	ペンタプリズムファインダー
視野率	約100%
倍率	約0.95× (50mm F1.4・∞)
アイレリーフ長	約20.5mm (見口枠より)、約22.3mm (レンズ中心より)
視度調節機能	約-2.5～+1.5m ⁻¹
フォーカシングスクリーン	ナチュラルブライトマットIII、交換式

ライブビュー

方式	撮像素子によるTTL方式
オートフォーカス	像面位相差検出およびコントラスト検出によるハイブリッド方式 AFエリア：顔検出、追尾、多点オート、セレクト、スポット フォーカスアシスト：オン / オフ
表示	視野率約100%、拡大表示 (最大16倍まで)、グリッド表示 (16分割表示、黄金分割表示、スケール表示、正方 (小)、正方 (大) 線種：黒 / 白選択可能)、ヒストグラム表示、白とび警告

画像モニター

形式	TFTカラーLCD、広視野角タイプ、エアギャップレス構造、強化ガラス製カバー、バリアングル式
イメージサイズ	3.0型 (アスペクト比3 : 2)
ドット数	約92.1万ドット
調整	明るさ、彩度、色調整

アウトドアモニター	±2ステップ
赤色画面表示	オン/オフ

ホワイトバランス

方式	撮像素子によるTTL方式
ホワイトバランス	オートWB、マルチパターンオートWB、太陽光、日陰、曇天、蛍光灯 (D: 昼光色、N: 昼白色、W: 白色、L: 電球色)、白熱灯、CTE、マニュアル (3種類登録可)、色温度設定 (3種類登録可)、撮影画像設定
微調整	A-B軸、G-M軸で±7ステップで調整可

オートフォーカス

方式	TTL位相差検出式
測距センサー	SAFOX X、11点測距 (中央9点はクロスタイプ)
輝度範囲	EV -3~18 (ISO 100、常温)
AFモード	シングルAF (AFS)、コンティニュアスAF (AFC)、自動選択AF (AFA)
AFエリア	11点オート、5点オート、セレクト、セレクトエリア拡大、スポット
AF補助光	専用LEDによるAF補助光

露出制御

測光方式	TTL開放77分割測光、分割/中央重点/スポット
露出範囲	EV 0~22 (ISO 100・50mm F1.4)
露出モード	AUTO モード (標準、人物、風景、マクロ、動物、夜景人物、夕景、青空、フォレスト) SCN モード (人物、風景、マクロ、動物、夜景人物、夕景、青空、フォレスト、夜景、夜景HDR、ナイトスナップ、料理、ペット、キッズ、サーフ&スノー、逆光シルエット、キャンドルライト、ステージライト、美術館) プログラム、感度優先、シャッター優先、絞り優先、シャッター&絞り優先、マニュアル、バルブ
露出補正	±5 EV (1/2 EVステップ、1/3 EVステップ選択可能)

AEロック	ボタンカスタマイズにてAF/AE-L ボタンに割り当て可能
-------	-------------------------------

シャッター

方式	電子制御式縦走りフォーカルプレーンシャッター ・リアル・レゾリューション・システム時には電子シャッターを使用
シャッタースピード	オート: 1/6000秒~30秒、マニュアル: 1/6000秒~30秒 (1/3 EVステップまたは1/2 EVステップ)、バルブ (タイマー露光設定可能: 10秒~20分)

ドライブ

ドライブモード	[静止画] 1コマ、連続 (H、L)、セルフタイマー (12秒後、2秒後、連続)、リモコン (即、3秒後、連続)、ブラケット (2コマ/3コマ/5コマ)、ミラーアップ、多重露出、インターバル撮影、インターバル合成、インターバル動画、スターストリーム [動画] リモコン ・ブラケット、インターバル撮影、インターバル合成、インターバル動画、スターストリームはセルフタイマー/リモコンとの併用可能 ・ミラーアップはリモコンとの併用可能 ・多重露出は連続/セルフタイマー/リモコンとの併用可能
	最高約6.0コマ/秒、JPEG ([L]・★★★・連続H): 40コマまで、RAW: 10コマまで、RAW+: 8コマまで 最高約3.0コマ/秒、JPEG ([L]・★★★・連続L): 100コマまで、RAW: 16コマまで、RAW+: 11コマまで ・連続撮影可能コマ数はISO 100のとき
連続撮影	
多重露出	合成方法: 加算/平均/比較明 撮影回数: 2~2000回

インターバル	【インターバル撮影】 撮影間隔：2秒～24時間／撮影待機時間：最短・1秒～24時間、撮影回数：2～2000回、開始トリガー：即時／セルフタイマー／リモコン／時刻指定 【インターバル合成】 撮影間隔：2秒～24時間／撮影待機時間：最短・1秒～24時間、撮影回数：2～2000回、開始トリガー：即時／セルフタイマー／リモコン／時刻指定、合成方法：加算／平均／比較明、途中経過保存：オン／オフ 【インターバル動画】 記録サイズ：[4K]／[FullHD]／[HD]、ファイル形式：Motion JPEG (AVI)、撮影間隔：2秒～24時間／撮影待機時間：最短・1秒～24時間、撮影回数：8～2000回（記録サイズ[4K]選択時は8～500回）、開始トリガー：即時／セルフタイマー／リモコン／時刻指定 【スターストリーム】 記録サイズ：[4K]／[FullHD]／[HD]、ファイル形式：Motion JPEG (AVI)、撮影待機時間：最短・1秒～24時間、撮影回数：8～2000回（記録サイズ[4K]選択時は8～500回）、開始トリガー：即時／セルフタイマー／リモコン／時刻指定、フェードアウト：オフ／弱／中／強

フラッシュ

内蔵フラッシュ	ポップアップ式P-TTL内蔵フラッシュ、ガイドナンバー約12 (ISO 100・m)、28mmレンズの画角(35ミリ判換算)をカバー
発光方式	自動発光 (AUTO、SCNモード時)、赤目軽減自動発光 (AUTO、SCNモード時)、強制発光、赤目軽減強制発光、スローシンクロ、赤目軽減スローシンクロ、後幕シンクロ、マニュアル発光 (FULL～1/128)
シンクロ同調速度	1/180秒
フラッシュ光量補正	-2.0～+1.0 EV

外付けフラッシュ	対応、P-TTL、先幕シンクロ、後幕シンクロ、光量比制御、ハイスピードシンクロ ワイヤレスシンクロ可能 光量比制御／ワイヤレスシンクロは、対応の外付けフラッシュが2台以上必要
----------	---

撮影機能

カスタムイメージ	オートセレクト、鮮やか、ナチュラル、人物、風景、雅 (MIYABI)、ポップチューン、ほのか、フラット、銀残し、リバーサルフィルム、モノトーン、クロスプロセス
クロスプロセス	シャッフル、プリセット1～3、お気に入り1～3
デジタルフィルター	色抽出、色の置換え、トイカメラ、レトロ、ハイコントラスト、シェーディング、ネガポジ反転、ソリッドモノカラー、ハードモノクローム
明瞭コントロール	～4.0～+4.0
肌色補正	Type1／Type2／オフ
HDR撮影	オート／Type1／Type2／Type3／アドバンスドHDR／オフ、振幅設定可、自動位置調整可
Real Resolution	動体補正オン／動体補正オフ／オフ
レンズ補正	ディストーション補正、周辺光量補正、倍率色収差補正、回折補正
D-Range設定	ハイライト補正、シャドウ補正
ノイズリダクション	長時NR、高感度NR
自動水平補正	SRオン時：最大1度まで補正可能、SRオフ時：最大1.5度まで補正可能
電子水準器	ファインダー内表示 (左右の傾き)、画像モニター表示 (左右・前後の傾き)

動画

ファイル形式	MPEG-4 AVC/H.264 (MOV)
記録サイズ	[FullHD] (1920×1080、60i／50i／30p／25p／24p)、 [HD] (1280×720、60p／50p)

フォーカス	像面位相差検出およびコントラスト検出によるハイブリッド方式 AFモード：シングルAF (AF.S)、コンティニュアスAF (AF.C) ・コンティニュアスAF (AF.C) は、対応レンズ装着時に有効 AFエリア：多点オート、セレクト、スポット フォーカスアシスト：オン/オフ
音声	内蔵ステレオマイク、外部マイク使用可能（ステレオ録音）、録音レベル調整可能
記録時間	最大4GBまたは最長約25分、内部温度上昇時は自動終了
カスタムイメージ	オートセレクト、鮮やか、ナチュラル、人物、風景、雅 (MIYABI)、ポップチューン、ほのか、フラット、銀残し、リバーサルフィルム、モノトーン、クロスプロセス
クロスプロセス	シャッフル、プリセット1～3、お気に入り1～3
デジタルフィルター	色抽出、色の置換え、トイカメラ、レトロ、ハイコントラスト、シェーディング、ネガボジ反転、ソリッドモノカラー、ハードモノクローム

再生機能

再生方法	1画像、マルチ画面表示 (6、12、20、35、80画面)、拡大 (最大16倍まで、クイック拡大可)、グリッド表示 (16分割、黄金分割、スケール、正方(小)、正方(大) 線種：黒/白選択可能)、回転表示、ヒストグラム表示 (Yヒストグラム、RGBヒストグラム)、白とび警告表示、縦位置自動回転、詳細情報表示、著作権情報表示 (撮影者名、著作権者名)、GPS情報 (緯度、経度、高度、協定世界時)、方位、フォルダー表示、撮影日別表示、スライドショー
消去機能	1画像消去、全画像消去、選択消去、フォルダー消去、クイックビュー消去

デジタルフィルター	ベースメイク、色抽出、色の置換え、トイカメラ、レトロ、ハイコントラスト、シェーディング、ネガボジ反転、ソリッドモノカラー、ハードモノクローム、ドラマチックアート、デッサン、水彩画、パステル、ポストリゼーション、ミニチュア、ソフト、クロス、フィッシュアイ、スリム、モノトーン
RAW展開	RAW画像選択：1画像選択/複数画像選択/フォルダー選択 RAW展開パラメーター：ホワイトバランス、カスタムイメージ、増減感、明瞭コントロール、肌色補正、デジタルフィルター、HDR撮影、Real Resolution、シャドー補正、高感度NR、ディストーション補正、周辺光量補正、倍率色収差補正、回折補正、フリッジ補正、アスペクト比、JPEG記録サイズ、JPEG画質、色空間
編集機能	画像回転、色モアレ補正、リサイズ、トリミング (アスペクト比変更可、傾き修正可)、動画編集 (分割および不要部分削除)、動画フレーム画像JPEG保存、バッファRAW保存

カスタマイズ機能

USERモード	最大3件まで登録可
カスタムファンクション	24項目
モードメモリ	16項目
カスタムボタン	Ex1 / Ex2 ボタン (ワンタッチRAW+、Wi-Fi、アウトドアモニター、赤色画面表示、プレビュー、電子水準器、測距点移動) AF/AE ボタン (AF作動1、AF作動2、AFキャンセル、AEロック) 露出モード別電子ダイヤルカスタマイズ各種

オートフォーカスカスタマイズ	AF.S：フォーカス優先／リリース優先から選択可 AF.C 1コマ目の動作：オート／フォーカス優先／リリース優先から選択可 AF.C連続撮影中の動作：オート／フォーカス優先／コマ速優先から選択可 AFホールド：オフ／弱／中／強から選択可 インターバル撮影中のAF：フォーカスロックする／フォーカスロックしないから選択可 リモコン時のAF：オフ／オンから選択可
文字サイズ	標準、大きい
ワールドタイム	世界75都市に対応（28タイムゾーン）
AF微調整	±10ステップ、一律調整、個別調整（最大20本まで登録可）
インジケーター	ボディライト：明るい／暗い／オフから選択可 セルフタイマー：オン／オフから選択可 リモコン：オン／オフから選択可 GPSユニットのランプ：オン／オフから選択可
著作権情報	「撮影者名」「著作権者名」を画像ファイルに記録、同梱ソフトウェアで改ざんの有無を確認可能

電源

使用電池	充電式リチウムイオンバッテリー D-LI109
ACアダプター	ACアダプターキット K-AC168J（別売）
電池寿命	撮影可能枚数...フラッシュ 50%発光：約410枚、フラッシュ発光なし：約480枚 再生時間...約270分 ・満充電のリチウムイオンバッテリー使用、23℃、撮影枚数はCIPA規格に準じた測定条件による目安ですが、使用条件により変わります。

外部インターフェイス

端子	USB 2.0（micro Bタイプ）、HDMI出力端子（タイプD）、ステレオマイク入力端子（3.5mm径、ケーブルスイッチ端子兼用）
USB接続	MSC／PTP

無線LAN

準拠規格	IEEE 802.11b/g/n（無線LAN標準プロトコル）
使用周波数（中心周波数）	2412MHz～2462MHz（1ch～11ch）
セキュリティ	認証方式：WPA2 暗号化方式：AES

外形寸法・質量

外形寸法	約125.5mm（幅）×93.0mm（高）×74.0mm（厚） （突起部を除く）
質量	約688g（バッテリー、SDカードを含む）、 約628g（本体のみ）

動作環境

使用温度	-10～40℃
使用湿度	85%以下（結露しないこと）

付属品

同梱物	ストラップ O-ST132、充電式リチウムイオンバッテリー D-LI109、充電器 D-BC109、ACコード、ソフトウェア（CD-ROM）S-SW168、スタートガイド <これ以降はカメラに装着状態で出荷>アイカップ FR、ホットシューカバー Fk、ボディマウントカバー
ソフトウェア	Digital Camera Utility 5

別売アクセサリ対応

GPSユニット	O-GPS1：GPS情報（緯度、経度、標高、協定世界時）、方位、電子コンパス、アストロトレーサー
ケーブルスイッチ	CS-310

撮影可能枚数と再生時間

(バッテリーフル充電時)

使用電源	使用温度	一般撮影	フラッシュ撮影		再生時間
			使用率 50%	使用率 100%	
D-LI109	23℃	約480枚	約410枚	約360枚	約270分

- 満充電のリチウムイオンバッテリー使用、23℃、撮影枚数はCIPA規格に準じた測定条件による目安ですが、使用条件により変わります。

記録サイズ別撮影可能枚数の目安

(8GBのメモリーカード使用時)

記録サイズ	JPEG画質			PEF
	★★★	★★	★	
L 24M	528枚	1192枚	2339枚	151枚
M 14M	889枚	1996枚	3837枚	—
S 6M	1964枚	4309枚	7923枚	—
XS 2M	4723枚	9824枚	16374枚	—

- 撮影可能枚数は、被写体・撮影状況・撮影モード・使用するメモリーカード等により異なります。

USB接続と付属ソフトウェアの動作環境

付属ソフトウェア「Digital Camera Utility 5」は、パソコンでRAW画像の展開や色調整、撮影情報の確認などができます。付属のCD-ROM (S-SW168) からインストールができます。本機との接続と付属ソフトウェアの使用には、以下のシステム環境が必要です。

Windows

OS	Windows 10 (32bit/64bit) / Windows 8.1 (32bit/64bit) / Windows 8 (32bit/64bit) / Windows 7 (32bit/64bit)
CPU	Intel Core 2 Duo以上
メモリ	4GB以上
HDD	インストール時および起動時の空き容量： 約100MB以上 画像ファイルの保存容量：1ファイルあたり約10MB (JPEG) または約30MB (RAW) 程度
モニター	1280×1024ドット、24bitカラー以上

Macintosh

OS	OS X 10.11／10.10／10.9／10.8／10.7
CPU	Intel Core 2 Duo以上
メモリ	4GB以上
HDD	インストール時および起動時の空き容量： 約100MB以上 画像ファイルの保存容量：1ファイルあたり約 10MB（JPEG）または約30MB（RAW）程度
モニター	1280×1024ドット、24bitカラー以上

●メモ

- 本機で撮影した動画をパソコンで再生するときは、MOVファイル／AVIファイルに対応している動画再生ソフトを使用してください。

記号

カメラメニュー	15
ビデオメニュー	20
再生メニュー	21
設定メニュー	22
Cメニュー	25
設定モード	38
人物	34
風景	34
マクロ	34
動物	34
夜景人物	34
夕景	34
青空	34
フォレスト	34
夜景	34
夜景HDR	34
ナイトスナップ	34
料理	34
ペット	34
キッズ	34
サーフ&スノー	35
逆光シルエット	35
キャンドルライト	35
ステージライト	35
美術館	35

数字

1画像表示	10, 41
1コマ撮影	40

A

AFカブラー	5
AFフレーム	33
AF補助光ランプ	5
AFロック時のAE-L	25
ASTROPHOTO	34
Avモード	35

B

Bモード	35
------------	----

C

CLEAR TONE	34
CTE	41

D

Digital Camera Utility 5	54
--------------------------------	----

H

HDR LANDSCAPE	34
---------------------	----

I

Image Sync	44
ISO感度	37

L

Language/言語	30
LCD設定	23

M

Macintosh	55
-----------------	----

Movie SR	20
----------------	----

Mモード	35
------------	----

P

Pモード	35
------------	----

R

RAW追加保存	33
---------------	----

S

SCNモード	34
Shake Reduction	16

Svモード	35
-------------	----

T

TAvモード	35
--------------	----

Tvモード	35
-------------	----

U

USB接続	54
-------------	----

W

Wi-Fi	44
-------------	----

Windows	54
---------------	----

あ

青空 (SCN)	34
赤目軽減強制発光	39
赤目軽減自動発光	39

赤目軽減スローシンクロ	39
-------------------	----

後幕シンクロ	39
--------------	----

アフターサービス	63
----------------	----

お

オートWB (ホワイトバラン ス)	41
音声	38
音量	22

か

カード	29
カードアクセスランプ	5
ガイド表示	32
拡大表示	42
カスタマイズ	13
カスタムメニュー	25
画像閲覧 (Image Sync) ..	44
画像モニター	8, 29
合焦マーク	33
感度	37
感度優先自動露出	35

き

キッズ (SCN)	34
機能制限	45
逆光シルエット (SCN) ..	35
キャンドルライト (SCN) ..	35
強制発光	39

く	クイックビュー	33	シャッター優先自動露出	35	ち	昼光色蛍光灯（ホワイトバランス）	41	は	バージョン情報	24
	クイックビュー表示	17	十字キー	7, 12		昼白色蛍光灯（ホワイトバランス）	41		配色	31
	グリッド表示	17	充電	28		沈胴式レンズ	32		白色蛍光灯（ホワイトバランス）	41
け			仕様	49	つ				白熱灯（ホワイトバランス）	41
現在地	30		消去	42		通信端末	44		バルブ撮影	36
こ			詳細設定メニュー	22		吊り環	27		バルブ露出	35
光量補正	39		使用説明書	64	て			ひ		
コントロールパネル ..	10, 12		初期化	31		電球色蛍光灯（ホワイトバランス）	41		日陰（ホワイトバランス）	41
			初期設定	30		電子音	22		美術館（SCN）	35
			人物（SCN）	34		電子水準器	11		表示スタイル	30
さ			す					ふ		
サーフ&スノー（SCN）..	35		ステージライト（SCN）..	35	と				ファインダー	11
再生情報表示選択	10		ステータススクリーン	9		動画メニュー	20		ファインダー撮影	32
再生メニュー	21		ストラップ	27		動画モード	38		ファインダー内表示	17
再生モード	41		スピーカー	5		動作環境	54		風景（SCN）	34
再生モードパレット	43		スローシンクロ	39		動体（SCN）	34		フォーカスモード切替レ	
撮影	32					都市名	30		バー	32
撮影可能枚数	54		せ			ドライブモード	40		フォーマット	31
撮影待機状態	8		全画像消去	21		曇天（ホワイトバランス）	41		フォレスト（SCN）	34
撮影メニュー	15		そ						付属ソフトウェア	54
撮影モード	34		像面位置マーク	5					フラッシュ	39
し			測光作動時間	25	た				フリッカー低減	17, 20
シーンモード	34		その他の表示	17		タイマー露光	36		プログラム自動露出	35
自動水平補正	16					ダイヤル	6		分割表示	42
自動発光	39					ダイヤル指標	32			
視度調整レバー	11					太陽光（ホワイトバランス）	41	へ		
絞り値	35						41		ベット（SCN）	34
絞り優先自動露出	35					ダイレクトキー	12			
シャッター&絞り優先自動										
露出	35									
シャッター速度	35									

ほ

ボタン	6
ホットシュー	5
ホワイトバランス	41

ま

マイク	5
マイク／ケーブルスイッチ 兼用端子	5
マウント指標	27
マウント名称	48
マクロ (SCN)	34
マニュアル発光	39
マニュアル露出	35
マルチパターンオートWB (ホワイトバランス)	41

み

ミラー	5
-----------	---

め

メニュー	14
メモリーカード	29

も

モードダイヤル	32
文字サイズ	30

や

夜景 (SCN)	34
夜景HDR (SCN)	34
夜景人物 (SCN)	34

ゆ

夕景 (SCN)	34
----------------	----

ら

ライブビュー	9
ライブビュー撮影	33

り

リセット	24, 26
リモート撮影 (Image Sync)	44
リモコン受光部	5
料理 (SCN)	34

れ

レバー	6
レンズ	27, 48
レンズ情報接点	5
レンズ取り外しボタン	27
連動外の自動補正	25

ろ

録画可能時間	38
露出補正	37
露出モード	35

取り扱い上の注意

お使いになる前に

- 長時間使用しなかったときや、大切な撮影（結婚式、旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能しているかを確認してください。万一、カメラや記録媒体（SDメモリーカード）などの不具合により、撮影や再生、パソコン等への転送がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の保証についてはご容赦ください。

バッテリー・充電器について

- バッテリーをフル充電して保管すると、性能低下の原因になることがあります。特に高温下での保管は避けてください。
- バッテリーを長期間カメラに入れたままにしておくと、微少の電流が流れて過放電になり、バッテリー寿命を縮める原因となります。
- 充電は使用する当日か前日にすることをお勧めします。
- 本製品に付属しているACコードは、バッテリー充電器D-BC109専用です。他の機器に接続してお使いにならないでください。

持ち運びとご使用の際のご注意

- 高温多湿のところは避けてください。特に車の中は高温になりますのでカメラを車内に放置しないでください。
- 強い振動、ショック、圧力などを加えないでください。オートバイ、車、船などの振動からは、クッションなどでくるんで保護してください。
- カメラの使用温度範囲は-10～40°Cです。
- 高温では液晶表示が黒くなることがありますが、常温に戻れば正常になります。
- 低温下では、液晶の表示応答速度が遅くなることもありますが、これは液晶の性質によるもので、故障ではありません。
- 急激な温度変化を与えると、カメラの内外に結露し水滴が生じます。カメラをバッグやビニール袋などに入れ、温度差を少なくしてから取り出してください。

- ゴミや泥、砂、ほこり、水、有害ガス、塩分などがカメラの中に入らないようご注意ください。故障の原因になります。雨や水滴などが付いたときは、速やかに乾いた布等で拭き取ってご使用ください。
- 雨や水滴が付着した状態でレンズの着脱をしないでください。レンズやカメラの内部に水分が入り込むと故障の原因となります。
- 破損や故障の原因になりますので、画像モニターの表面を強く押さないでください。
- 三脚使用時は、ねじの締め過ぎに十分ご注意ください。

お手入れについて

- 汚れ落としに、シンナーやアルコール、ベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。
- レンズのほこりは、きれいなレンズブラシで取り去ってください。スプレー式のブロアーは、レンズを破損させるおそれがありますので、使用しないでください。
- CMOSセンサーの清掃につきましては、できるだけ弊社修理センターまたは、お客様窓口にご用命ください。（有料）
- 高性能を保つため、1～2年ごとに定期点検にお出しいただくことをお勧めします。

保管について

- 防腐剤や有害薬品のある場所では保管しないでください。また高温多湿の場所での保管は、カビの原因となりますので、乾燥した風通しのよい場所に、カメラケースから出して保管してください。
- 静電気や電気ノイズの発生しやすい場所での使用・保管は避けてください。
- 急激な温度変化や、結露が発生する場所、直射日光のあたる場所での使用・保管は避けてください。

SDメモリーカードについて

- SDメモリーカードには、ライトプロテクトスイッチが付いています。スイッチをLOCK側に切り替えると、新たにデータを記録できなくなり、カメラやパソコンで削除やフォーマットができなくなります。
- カメラを使用した直後にSDメモリーカードを取り出すと、カードが熱くなっている場合があります。
- SDメモリーカードへのアクセス中は、カードを取り出したり電源を切ったりしないでください。データやカードの破損の原因となります。
- SDメモリーカードは、曲げたり強い衝撃を与えないでください。また、水に濡らしたり、高温になる場所に放置しないでください。
- SDメモリーカードのフォーマット中は絶対にカードを取り出さないでください。カードが破損して使用できなくなることがあります。
- SDメモリーカードに保存したデータは、以下の条件で失われる場合がありますので、ご注意ください。消去されたデータについては、当社では一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
 1. 使用者がSDメモリーカードの取り扱いを誤ったとき
 2. SDメモリーカードを静電気や電気ノイズのある場所に置いたとき
 3. 長期間SDメモリーカードを使用しなかったとき
 4. SDメモリーカードのアクセス中にカードを取り出したり、バッテリーを抜いたとき
- 長期間使用しない場合は、保存したデータを読むことができなくなることがあります。必要なデータは、パソコンなどへ定期的にバックアップを取るようにしてください。
- SDメモリーカードをご購入の際は、あらかじめ動作確認済みのものであるかを当社ホームページでご確認いただくか、お客様相談センターにお問い合わせください。
- 未使用品や他のカメラで使用したSDメモリーカードは、必ずフォーマットしてからご使用ください。
- フォーマットしたカードでも、市販の修復ソフトを使用すると、データを再び取り出せることがあります。廃棄にはSDメモリーカード本体を物理的に破壊し、譲渡の際は市販のデータ消去専用ソフトなどを使ってSDメモリーカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。
- SDメモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。



無線LAN機能について

- 電気製品、AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- 磁気や電磁波の影響を受けると、通信ができなくなることがあります。
- テレビ、ラジオなどの近くで使用すると、受信障害の原因になったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャネルを使用していると正しく検索できない場合があります。
- データはお客様の責任において管理してください。

本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更し、混信を回避してください。
3. その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、当社サービス窓口にお問い合わせください。

本製品は、電波法ならびに電気通信事業法に基づく技術基準に適合し、技術マークを画面に表示することができます。

認証マークの表示方法

▼5メニュー「認証マーク」で電波法ならびに電気通信事業法に基づく基準適合マークを表示できます。メニューの操作については、「メニューで設定する」(p.14)を参照してください。

商標について

- Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
 - Macintosh、OS X、QuickTime、App Storeは、米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。
 - Intel、Intel CoreはIntel Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
 - SDXCロゴは、SD-3C、LLCの商標です。
 - Google、Google Play、Androidは、Google Inc.の商標または登録商標です。
 - Wi-FiはWi-Fi Allianceの商標です。
 - iOSの商標は、米国Ciscoのライセンスに基づき使用されています。
 - この製品はAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の許可のもと、DNG技術を取り入れています。
 - DNGロゴは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
 - HDMI、HDMIロゴ、High-Definition Multimedia Interfaceは、米国およびその他の国々におけるHDMIライセンスの商標または登録商標です。
 - SILKPIXは、株式会社市川ソフトラボラトリーの登録商標です。
- その他、記載の商品名、会社名は各社の商標もしくは登録商標です。

- 本製品は株式会社リコーがデザイン制作したリコー RT Fontを使用しています。
 - 本製品はPRINT Image Matching IIIに対応しています。PRINT Image Matching対応プリンターでの出力および対応ソフトウェアでの画像処理において、撮影時の状況や撮影者の意図を忠実に反映させることが可能です。なお、PRINT Image Matching IIIより前の対応プリンターでは、一部機能が反映されません。
- PRINT Image Matching、PRINT Image Matching II、PRINT Image Matching IIIに関する著作権はセイコーエプソン株式会社が所有しています。

HDMI™
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

SD™
XC I



SILKPIX®



AVC Patent Portfolio Licenseについて

本製品は、お客様が個人使用または報酬を受けないその他の利用で次の行為を行うために使用される場合に限り、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされているものです。

- AVC 規格に従い動画をエンコードすること（以下、エンコードしたものをAVCビデオといいます）
 - 個人利用かつ非営利目的の消費者によりエンコードされたAVCビデオ、またはAVCビデオを供給することについてライセンスを受けている供給者から入手したAVCビデオをデコードすること
- 上記以外の使用については、黙示のライセンスを含め、いかなるライセンスも許諾されていません。

詳細情報につきましては、MPEG LA, LLCから取得することができます。
<http://www.mpegla.com>をご参照ください。

BSDライセンスソフトウェアの利用に関するお知らせ

本製品はソフトウェアの一部にBSDライセンスに従ったソフトウェアを利用しています。BSDライセンスとは、無保証の旨の明記、著作権表示、ライセンス条文一覧の表示を条件としてプログラムの再頒布が許諾されるソフトウェアのライセンス形式です。下記の内容は、上記ライセンス条件に基づき表示されるものであり、お客様の使用制限等を規定するものではありません。

記

Tera Term

Copyright (C) 1994-1998 T. Teranishi

(C) 2004-2015 TeraTerm Project

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. The name of the author may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

アフターサービスについて

1. 本製品が万一故障した場合は、ご購入日から満 1 年間無料修理いたしますので、お買い上げ店か使用説明書に記載されている当社サービス窓口にお申し出ください。修理をお急ぎの場合は、当社のサービス窓口にご連絡ください。修理品ご送付の際は、輸送中の衝撃に耐えられるようしっかり梱包し、発送や受け取りの記録が残る宅配便などをご利用ください。不良見本のサンプルや故障内容の正確なメモを添付していただくと原因分析に役立ちます。
2. 保証期間中〔ご購入後 1 年間〕は、保証書〔販売店印および購入年月日が記入されているもの〕をご提示ください。保証書がないと保証期間中でも修理が有料になります。なお、販売店または当社サービス窓口へお届けいただく諸費用はお客様にてご負担願います。また、販売店と当社間の運賃諸掛りにつきましても、輸送方法によっては一部ご負担いただく場合があります。
3. 次の場合は、保証期間中でも無料修理の対象にはなりません。
 - ・ 使用上の誤り（使用説明書記載以外の誤操作等）により生じた故障
 - ・ 当社の指定するサービス機関以外で行われた修理・改造・分解による故障
 - ・ 火災・天災・地変等による故障
 - ・ 保管上の不備（高温多湿の場所、防虫剤や有害薬品のある場所での保管等）や手入れの不備（本体内部に砂・ほこり・液体かぶり等）による故障
 - ・ 修理ご依頼の際に保証書のご提示、添付がない場合
 - ・ お買い上げ販売店名や購入日等の記載がない場合ならびに記載事項を訂正された場合
4. 保証期間以降の修理は有料修理とさせていただきます。なお、その際の運賃諸掛りにつきましてもお客様のご負担とさせていただきます。
5. 本製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後 5 年間を目安に保有しております。従って本期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、期間以後であっても修理可能な場合もありますので、当社サービス窓口にお問い合わせください。
6. 保証内容に関して、詳しくは保証書をご覧ください。

「使用説明書」のご案内

本機の詳しい使い方を説明している「使用説明書」(PDF)をご用意しています。当社ホームページからダウンロードしてご利用ください。

当社ホームページ

<http://www.ricoh-imaging.co.jp/>

「使用説明書」ダウンロード

<http://www.ricoh-imaging.com/manuals/>



フォトスクール・写真クラブのご案内

<http://www.ricoh-imaging.co.jp/japan/community/family/>

ペンタックスリコーファミリークラブは、弊社製品をご愛用いただいている方に向けての、弊社が主催する写真クラブです。クラブ誌や会員公募による写真年鑑の発行のほか、各種フォトスクールを開催しています。たくさんの方の会員特典や楽しい企画であなたのフォトライフをバックアップします。詳しくは、ホームページをご覧ください。ペンタックスリコーファミリークラブ事務局までお問い合わせください。

**Pentax Ricoh
Family Club**

ペンタックスリコーファミリークラブ事務局

TEL 03-3348-2945 FAX 03-3345-8076

〒163-0690 東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービルMB（中地下1階）リコーイメージングスクエア新宿内
営業時間 10：30～18：30（火・土・日・祝日および弊社特別休業日を除く）

リコーイメージングオンラインストア

<http://store.ricoh-imaging.co.jp/>

製品はもちろん、純正アクセサリや各種オリジナルグッズを販売しています。

ショールーム・ギャラリーのご案内

<http://www.ricoh-imaging.co.jp/japan/community/>

リコーイメージングスクエア新宿（修理受付可）

TEL 03-3348-2941 FAX 03-3345-8076

〒163-0690 東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービルMB（中地下1階）
営業時間 10：30～18：30（毎週火曜日、年末年始、ビル点検日を除く）

リコーイメージングスクエア銀座

TEL 03-3289-1521

東京都中央区銀座5-7-2 三愛ドリームセンター 9階
営業時間 11：00～19：00（毎週火曜日、年末年始、ビル点検日を除く）

リコーイメージングスクエア大阪

TEL 06-6271-7996（代）

〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場1-17-9 パールビル2階
営業時間 9：00～17：00（土・日・祝日、弊社休業日を除く）

ユーザー登録のお願い

<https://login.ricoh-imaging.co.jp/customer/menu.aspx>

お客様へのサービス向上のため、お手数ですがユーザー登録にご協力いただきますよう、お願い申し上げます。
付属のCD-ROMと当社ホームページから登録が可能です。

本製品に関するお問い合わせ

<http://www.ricoh-imaging.co.jp/japan/support>

お客様相談センター



ナビダイヤル 0570-001313

(市内通話料金でご利用いただけます。)

ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、右記の電話番号をご利用ください。TEL 03-4330-0008 (代)

営業時間 9:00~17:30 (平日) 10:00~17:00 (土・日・祝日) (年末年始、ビル点検日を除く)

修理受付

<http://www.ricoh-imaging.co.jp/japan/support/repair.html>

修理受付センター／ピックアップリペアサービス申し込み



ナビダイヤル 0570-001301

(市内通話料金でご利用いただけます。)

ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、右記の電話番号をご利用ください。TEL 03-4330-0014 (代)

営業時間 9:00~17:00 (土・日・祝日、弊社休業日を除く)

※ ピックアップリペアサービスは、全国(離島など一部地域を除く)どこでも修理品梱包資材のお届け・修理品の引き取りから、修理完成品のお届けまでを一括して提供するサービスです(全国一律料金)。インターネットからもお申し込みいただけます。

なお、弊社修理受け付け後のお問い合わせは、東京サービスセンターにて承ります。

修理受付窓口【宅配】【郵送】

TEL 03-3966-6121 FAX 03-3960-5158

〒174-0041 東京都板橋区舟渡1-12-11 ヘリオスⅡビル3階 リコーイメージング株式会社 東京サービスセンター内

営業時間 9:00~17:00 (土・日・祝日、弊社休業日を除く)

東京サービスセンター【窓口】

TEL 03-3960-5140 (代) FAX 03-3960-5147

〒174-0041 東京都板橋区舟渡1-12-11 ヘリオスⅡビル3階

営業時間 9:00~17:00 (土・日・祝日、弊社休業日を除く)

大阪サービスセンター【窓口】【宅配】【郵送】

TEL 06-6271-7996 (代) FAX 06-6271-3612

〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場1-17-9 パールビル2階

営業時間 9:00~17:00 (土・日・祝日、弊社休業日を除く)

リコーイメージング株式会社

〒143-8555 東京都大田区中馬込1-3-6 (株) リコー大森事業所内

☆仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。

51808

R02DTG16

Printed in Philippines